

1430迄 (1296件)

1411年-06:30|ミャンマー| |||<就任>北アラン総督(アワの家臣)「レティア」(~1412年初頭)
1411年-06:30|ミャンマー| |||<就任>サントウエイ総督(アワの家臣)「ソッカテ」(~1412年初頭)
1411年-05:30|インド| |||<死去>ゲジャラート・スルターン朝スルターン「ムザッファール・シャー1世(ザ・ファール・ハン)」
1411年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>ジヨチ・ウルス・ハン「Jalal al-Din Khan」(~1412年死去)
1411年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Hassan2世 Keerithi Maha Radun」(~同年)
1411年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン:ジャラルッティーン「トクミシュの長男、青帳ハン、白帳ハン」(~1412年)
1411年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ジャイル朝第8代国王「マフムト」ワリトの子(~1415年)
1411年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「テオドロス1世」(~14140623~14140702死去)
1411年-03:00|イラク| |||カラ・コユル朝カラ・ユスフがジャイル朝を破りバグダードを占領
1411年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「レオネ・ダントーロ」(~1412年)
1411年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「ヨハン・ヴェークボロト・フォン・ビューデ-リッヒ」(~1417年)
1411年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイヤン朝スルタン「アフド・アッラフマン1世」(~同年)⇒「サイド1世」(~同年)⇒「アフド・マレキ1世」(~1423年)
1411年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||ポルトガルとカスティリアとの間に講和条約が成立
1411年1月10日-05:30|インド| |||<即位>ゲジャラート・スルターン朝スルタン「アフマド・シャー1世」(~1442年死去)
1411年1月14日-09:00|日本| ||応永17年12月20日|<交替>近江国守護「六角満高」解任⇒同族の「青木持通」(~応永19(1412)年)
1411年1月16日-01:00|ドイツ| |||<即位>ブランデンブルク選帝侯「ジギスムント」(~14150430)
1411年1月18日-01:00|ドイツ/ルクセンブルグ/オーストリア/チェコ/イタリア/ポーランド| |||<死去>神聖ローマ皇帝・ルクセンブルク公・ブランデンブルク選帝侯「ヨーフスト」兼ドイツ王「ヨーフスト・フォン・メレン」
1411年1月18日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<就任>神聖ローマ帝国教皇代理「ライン伯ハレーティン「ルトウ・イヒ3世(2回目)」「ザクセン伯ハレーティン・ザクセン公「ルトルフ3世」(2回目)」(~11. 8)
1411年1月18日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ジギスムント」(~14150430退任)
1411年1月18日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア辺境伯「ヴァーツラフ4世」カレルの息子、ボヘミア王(~14190816死去)
1411年1月18日-01:00|ルクセンブルグ| |||<即位>ルクセンブルク公「エリーザベト・フォン・ゲルリッツ」ヨーフストの従姉妹(~14431123「ルネーニユ公フィリップ」3世善良公に制圧されブルゴーニュ領ネーデルラントの一部として統治、名目上の公位)、摂政「アントニー・エリザベト」の夫(~14150425没)
1411年1月18日-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||モラヴィアはボヘミアに復帰(~14231003)
1411年1月21日-09:00|日本| ||応永17年12月27日|<死去>関白、左大臣「二条満基」(28歳)
1411年1月24日-08:00|中国| ||明・永楽9年|明が黒竜江に、スルタン都司を設置
1411年1月24日-09:00|日本| ||応永17年12月30日|<就任>関白「一条経嗣」(~応永25年11月17日)
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年|<交替>安芸国守護「山名照重」⇒「武田信満」(~応永24年2月6日(14170222)自害)
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年|恕仲天間、曹洞宗橋谷山大洞院(森町橋)開山
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年|小早川則平、大檀那として、仏通寺含暉院仏殿を造立
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年|信濃の僧天間、如仲、遠江大洞院を開創
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年|本果院日朝、光照山蓮静寺(御殿場市中丸)開山
1411年1月25日-09:00|日本| ||応永18年1月|三戸南部13代守行、仙北郡刈和野(西仙北町)で安藤鹿季と戦う/最終的に南部軍が勝利したが、南部勢の、工藤外記、西沢勝忠、工藤左衛門らが討ち死に
1411年2月1日-01:00|ドイツ/リトアニア/ポーランド| |||ドイツ騎士団が、ポーランド、リトアニアと和平を結ぶ(第1次トルンの和約)
1411年2月6日-02:00|ギリシャ| |||<死去>エペロス専制公「エヴ・ブ・オンデルモンティ」
1411年2月6日-02:00|ギリシャ| |||<就任>エペロス専制公国摂政「ユートキア・ハルツィ」(~26日)
1411年2月6日-02:00|ギリシャ| |||<即位>エペロス専制公「ゲオルギオス・ブ・オンデルモンティ」(~26日)
1411年2月9日-09:00|日本| ||応永18年1月16日|<死去>関東管領「上杉憲定(山内)」
1411年2月17日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国アミール「スレイマン・セルビ」
1411年2月18日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国アミール「ムサ・セルビ」(~14130705)
1411年2月23日-08:00|中国| ||明・永楽9年2月|明、会通河の改修に成功
1411年2月25日-02:00|ギリシャ| |||<即位>ケファロニアとザンテの専制公・ハレーティス伯爵「カル1世トコ」(~14290704没)
1411年3月3日-09:00|日本| ||応永18年2月9日|<交替>武蔵国守護「上杉憲定」⇒「上杉氏憲」(~応永26(1419)年)
1411年3月3日-09:00|日本| ||応永18年2月9日|<任命>関東管領「(犬懸)上杉氏憲(禅秀)」(~応永22(1415)年5月2日死去)
1411年3月25日-09:00|日本| 静岡県袋井市|応永18年3月|今川了俊、物外性応を開山に、祥雲山海蔵寺(堀越)開基
1411年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ベルツォのシモーネ」「アントニオ・ディ・マリノ・ディ・フォスコ」
1411年4月12日-01:00|フランス| |||<死去>ハル公「ロベール1世」
1411年4月12日-01:00|フランス| |||<就任>ハル公「エドゥアル3世」(~14151025死去)
1411年4月22日-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア陸軍元帥(首相)「スタニスワフ・アス・チュフ「ルナ」
1411年4月23日-09:00|日本| ||応永18年4月|今川了俊、今川遠江入道貞秋あてに「歌林」を著す
1411年5月23日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| |||<即位>ブルジー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「ナシール・ファラジュ」(~14120523死去)
1411年6月3日-01:00|オーストリア| |||<死去>前方オーストリア公「レオポルト4世」40歳
1411年6月3日-01:00|オーストリア| |||<即位>前方オーストリア公「フリートリヒ4世」(~14390624死去)

1430迄 (1296件)

1411年6月16日-09:00|日本| ||応永18年5月25日|<死去>和泉上半国守護「細川頼長」持有が継ぐ(〜永享10(1438)年9月17日)

1411年6月21日-08:00|中国| ||明・永楽9年6月|鄭和第3次遠征帰還

1411年7月5日 00:00|イタリヤ| ||<就任>トーマス・ボート「トマス・ボート」(〜14261231死去)

1411年7月21日-09:00|日本|岐阜県|応永18年7月|<飛騨の乱(飛騨国)>姉小路尹綱は南北両朝の合体条件の不履行に関する飛騨の山科家領を巡る争いもあって、古川城にて挙兵、小島家と幕府との仲を取り持つ向家を討つため、小島城と向小島城を攻撃/幕府は飛騨守護・京極高光に尹綱の追討を命じたが、高光は病床の身であったため、弟の京極高数が総大将として領国の軍勢を率いて、越前からは斯波氏の被官であった甲斐氏・朝倉氏が、信濃からは守護・小笠原持長が幕命を受けて出陣/幕府軍5千に対し、尹綱は武安郷の広瀬高堂城主・広瀬常登の協力を得たが、国司側の兵力は500ほどであった

1411年7月29日-09:00|日本|兵庫県朝来市|応永18年7月9日|<死去>但馬大明寺住持美濃大安寺開山常訴笑堂

1411年8月12日-01:00|イタリヤ| ||ベネチア、パドヴァの子ムザ・ベネチアの条約

1411年8月17日-09:00|日本|京都府京都市|応永18年7月28日|六角-押小路、西洞院-室町間焼亡

1411年8月25日-09:00|日本| ||応永18年8月6日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津元久」

1411年9月20日-09:00|日本|岐阜県|応永18年9月3日|<飛騨の乱(飛騨国)>激戦の末、姉小路尹綱と広瀬常登は敗走し、最後は共に討ち取られた

1411年9月26日-09:00|日本/中国| ||応永18年9月9日|室町幕府が明使を拒否し國交中断

1411年9月29日-08:00|中国| ||早朝にチベットで地震/M8.0、死者多数、地表断層や山崩れが発生、前日夜に前震あり

1411年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ハ・オ・デ・イ・カホ・ネ」(「ジョウ・アンニ・デ・イ・ハ・シー・ノ・ベン・ウ・エグ・メ・テ・イ」)

1411年10月31日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||カスティリヤとポルトガルが講和条約を締結

1411年11月8日-01:00|ドイツ/イタリヤ| ||<即位>ドイツ王・イタリヤ王「ジギスムント」(⇒14330531神聖ローマ帝国皇帝〜14371209没)

1411年11月16日-09:00|日本| ||応永18年閏10月|<任命>薩摩・大隅・日向国守護「島津久豊」元久の弟(〜応永32年1月21日(14250209)死去)

1411年12月27日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永18年11月13日|大谷神明宮(三ヶ日町大谷)再建

1412年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「オルジェイトゥ・ハーン」殺害される

1412年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「タルバク・ハーン」(〜1415年没)

1412年-06:30|ミャンマー| ||<即位>北アラカン国王「ナラ」(1421年までベグーの家臣〜14290418)

1412年-06:30|ミャンマー| ||<即位>サントウエイ国王「トン・イワザ」(1421年までのベグーの家臣〜1436年)

1412年-05:30|インド| ||<建国>バジャール国

1412年-05:30|インド| ||<死去>ベングール・スルターン朝スルターン「サイフ・ディン・ハムザ・シャー」

1412年-05:30|スリランカ| ||<即位>コッテ王国国王「ハ・ラマハ・76世」(〜1467年)

1412年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<死去>ジョチ・ウルス・ハン「Jalal al-Din Khan」

1412年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Karim Berdi」(〜1414年)

1412年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ヒルリ朝スルタン「Isa Bavana Sundhura」(〜同年)⇒<復位>「Ibrahim1世 Dhammaru Veeruj」(2期目〜1420年)

1412年-04:00|ロシア| ||<即位>金帳ハン国ハン・カリム・ベグ「イリク・テムル」の次男(〜1414年)

1412年-04:00|ジョージア| ||<即位>グルジア国王「アレクサンドル1世」(〜1442年退位)

1412年-04:00|ロシア| ||<復位>モスコフスキー・ナメストク「コンスタンチン・ミトリエヴィチ」(〜1414年)

1412年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| ||<就任>ヴェネチアのカンテリア公「フランチェスコ・ベネボ」(〜1415年)

1412年-01:00|アンドラ| ||<死去>アンドラ公国共同大公「フォア伯爵Archambaud」

1412年-01:00|アンドラ| ||<就任>アンドラ公国共同大公「フォア伯爵ジャン1世」(〜14360504死去)

1412年-01:00|アルバニア/イタリヤ| ||<就任>ヴェネチアのデュラツォ執達吏・長官「マッテオ・ゲラニニョ」(〜1414年)

1412年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「ペタル・デ・アルベン」(〜1413年)

1412年-01:00|クロアチア| ||<就任>スラヴォニア全土のハン「パヴァオ・チュホル」(〜1415年死去)

1412年-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事「アンダー・ス・ヤコブ・セン・ルンゲ」(1回目〜1413年)

1412年-01:00|フランス| ||<就任>モルテン伯「Catherine of Alencon」(〜1416年)、「Louis」(〜1413年)

1412年-01:00|スペイン| ||<就任>リャゴルザ伯「Alfonso of Aragon and Eiximenis」(〜1425年)

1412年-01:00|イタリヤ| ||<即位>シチリア王「フェルディナント1世」アラゴン王(〜14160402死去)

1412年-01:00|リビア/エジプト| ||トリポリ・リビアはエジプトが支配(〜1421年)

1412年 00:00|イタリヤ| ||<就任>クレンス公「トマス・オブ・ランカスター」ヘンリー4世の次男(〜14210322死去)

1412年 00:00|フェロー諸島/デンマーク| ||<就任>フェロー諸島法執行者「Haraldr Kalfsson」

1412年1月5日 00:00|イタリヤ| ||<就任>イングランド連邦大法官「カンタベリー大主教トマス・ランデル」(5期目〜14130321)

1412年1月18日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永18年12月5日|足利義持相国寺恵林院を創建

1412年2月13日-09:00|日本| ||応永19年|<交替>近江国守護「青木持通」⇒「六角満高」再任(〜応永23年11月17日(14161206)死去)

1412年2月13日-09:00|日本| ||応永19年|<任命>安芸国[佐東郡、山県郡]守護「武田信守」(〜不詳)

1412年2月13日-09:00|日本| ||応永19年|<任命>因幡国守護「山名熙高」(〜享徳2年(1453)年死去)

1412年2月13日-09:00|日本|岡山県小田郡矢掛町|応永19年|信濃の僧性謙、喜山、備中洞松寺を開創

1412年2月13日-09:00|日本|静岡県磐田市|応永19年|梧鳳桐林、日蓮宗瑞雲山妙法寺(磐田郡豊田町池田)を開創

1430迄 (1296件)

1412年2月13日-09:00|日本|静岡県袋井市|応永19年|今川了俊、赤尾山長楽寺(高尾)の本堂を再建
1412年3月13日-09:00|日本| || 応永19年2月|今川了俊「今川壁書」著す
1412年3月18日-09:00|日本|愛知県安城市|応永19年2月6日|三河国八幡山における合戦で、西条吉良勢の侍6人が討死
1412年4月1日-01:00|スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王国国王アルブレクト(74才)
1412年4月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>メクレンブルク=シュヴェーリントン公「アルブレヒト3世」
1412年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・デ・イ・メンギーノ・デ・カルチーニ」「フォスキノ・デ・イ・ベネット・マトロニ」
1412年4月1日-01:00|ドイツ| ||<即位>メクレンブルク=シュヴェーリントン公「アルブレヒト5世」アルブレヒト3世の息子(〜1423年死去)
1412年4月12日-09:00|日本| || 応永19年3月|今川了俊、関口氏にあてて「了俊日記」著す
1412年4月26日-09:00|日本|長野県下伊那郡阿南町|応永19年3月15日|僧昌山・民部伸盛、伊那郡新野村に二善寺を再興
1412年4月27日-09:00|日本| || 応永19年3月16日|<任命>室町幕府管領「細川満元」(〜応永28(1421)年7月29日)
1412年5月-02:00|エジプト/シリア/アラブ| || トリポリ総督ムアイヤドが反乱
1412年5月16日-01:00|イタリア| ||<死去>ミラノ公「ジョヴァンニ・マリア・ウーイスコンティ」暗殺された
1412年5月23日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| ||<死去>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「ナシール・ファラジュ」
1412年5月23日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| ||<即位>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「アルマリク・アルアデイル」(〜14121106退位)
1412年5月31日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「ラポラ・ス・ウアリマンタウ・イチュス」(〜14321015没)
1412年6月11日-01:00|ハンガリー/イタリア| || ベネチア、リド島のサン・ニコロにハンガリー人夜間に急襲
1412年6月12日-01:00|イタリア| ||<即位>ミラノ公「フィリッポ・マリア・ウーイスコンティ」ジョヴァンニ・マリアの弟(〜14470813死去)
1412年6月21日-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「エーリヒ5世」(〜1435年死去)
1412年6月24日-01:00|スペイン/イタリア| ||<即位>アラゴン王兼サルデーニャ国王兼シチリア王「フェルナンド1世」カスティリャ王ファン1世とレオナルド・アラゴンの息子(〜14160402死去36歳)
1412年7月9日 00:00|イギリス| ||<就任>クレンス公・オマール伯「トマス・オブ・ランカスター」ヘンリー4世の次男(〜14210322死去)
1412年8月10日-01:00|フランス/イギリス| || イングランド遠征部隊、フランス北西部のノルマンディーとアンジューに侵入し、略奪
1412年8月22日-01:00|フランス| || 「ブルゴーニュ派」と「アルマニャック派」がフランス中部ボヌ県オセールで「オセール和平条約」締結
1412年9月3日-01:00|スペイン| ||<就任>パレハ伯「フェラン1世(アンテケラ王)」(〜14160402死去)
1412年9月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「成石璘」(〜14140506)
1412年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・セグナ」「ジョヴァンニ・デ・イ・ウゴリーノ・デ・イ・ジョヴァンニ」
1412年10月5日-09:00|日本| || 応永19年8月29日|<譲位>100代「後小松天皇」上皇として院政を開始
1412年10月5日-09:00|日本| || 応永19年8月29日|<踐祚>101代「称光天皇」(応永21年12月19日即位〜14280720)
1412年10月9日-09:00|日本| || 応永19年9月4日|<死去>但馬棚厳寺開山「南溟昌運」
1412年10月28日-01:00|スウェーデン/デンマーク/ノルウェー| ||<死去>スウェーデン王国・デンマーク女王「マルグレーテ1世」フランスブルグundyの自船上でヘーストのため/59歳(誕生1353年)エーリクの親政が始まる
1412年10月30日-09:00|日本|宮城県宮崎市|応永19年9月25日|伊東祐安、曾井城を囲み、樺山教宗・北郷知久、曾井に救援に向かうが、敗北し高城に引き上げる
1412年10月31日-01:00|イタリア| || ベネチア、ビザンツ皇帝パレオカスとの条約更新
1412年11月6日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| ||<即位>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「ムアイヤド・シャイフ」(〜14210113死去)
1412年11月6日-02:00|エジプト/シリア/アラブ| ||<退位>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「アルマリク・アルアデイル」
1412年12月28日-01:00|ポーランド| ||<死去>オレシツァ公・ビトム公「コンラット3世Stary」
1412年12月28日-01:00|ポーランド| ||<就任>オレシツァ公・ビトム公「コンラト4世Starszy」(〜1416年)、オレシツァ公「コンラト5世」(〜14390910死去)兼ビトム公(〜1427年)
1413年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Ali Shah」(〜1420年)
1413年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Muhammad Shah」(〜同年)⇒「Shihabuddin Bayazid Shah」(〜1414年)
1413年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「アマシリ・ハ・イジド・ハ・シャ」(〜1421. 7死去)
1413年-02:00|リトアニア/ポーランド| || ポーランドと協定を結んで連合関係を強化
1413年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Diego de Portocarrero」(〜1414年)
1413年-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン方伯「ルートヴィヒ1世平和伯」ヘルマン2世の息子(〜14580117死去、ヘッセンはオーバーヘッセンとニダーヘッセンに分裂)
1413年-01:00|フランス| ||<就任>モルテン伯「Louis7世of Bavaria」(〜1416年)
1413年-01:00|ポーランド| ||<就任>レグニツァ公「ルイ2世」(〜14360530死去)
1413年-01:00|フランス| ||<即位>アキテーヌ公「アンリ4世」イングランド王ヘンリー5世(〜1422年)
1413年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「ビヨルン・エイナルソン ヨルサファリ」(〜1415年没)
1413年 00:00|イギリス| ||<就任>ストラザン伯「マリス・グラムム」ユーフェミアの長男(〜1427年)
1413年1月15日-09:00|日本|愛知県名古屋市|応永19年12月13日|僧含讃、尾張国法輪寺に懸仏を施入
1413年1月20日-09:00|日本| || 応永19年12月18日|<死去>上野・伊豆国守護「上杉憲定」38才/長男の憲基が継ぐ(12月29日〜応永25年1月4日(14180209)死去)
1413年2月-05:30|インド| ||<死去>トゥグルク朝スルタン「ナシルッディーン・マフムード・シャー」

1430迄 (1296件)

1413年2月-05:30|インド| |||<即位>トゥグル朝スルターン「ダウラト・ハーン・ローデイー」(~1414年滅亡)
1413年2月1日-09:00|日本| |||<任命>奥州探題「大崎満詮」(~応永30(1423)年)
1413年2月1日-09:00|日本|京都府宇治市|応永20年|山城国宇治橋を架ける
1413年2月1日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応永20年|如拙「瓢鮎図」を描く
1413年2月1日-09:00|日本|京都府京都市左京区|応永20年|京都金地院の溪陰小築図(伝明兆)できる
1413年2月1日-07:00|ベトナム| |||<大越・重光5年>|<廃位>後陳朝(大越)第2代皇帝「重光帝(陳季拡)」明軍の捕虜になる
1413年2月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市中熱田区|応永20年1月1日|熱田社焼失
1413年2月2日-09:00|日本|愛知県|応永20年1月2日|<死去>尾張国正眼寺・雲興寺の開山天鷹祖祐
1413年2月13日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|応永20年1月13日|<死去>天真自性(南条郡慈眼寺開山)
1413年2月14日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リウ・オ・7騎士団団長「コンラート・フォン・ヴィーティンゲン」
1413年2月14日-02:00|ラトビア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リウ・オ・7騎士団団長「ディートリッヒ・トルク」(14130513まで代行~14150817没)
1413年3月2日-08:00|中国| |||明・永楽11年2月|明が貴州布政使司をもうけ、土司を廃止
1413年3月20日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王・ヘンリー4世「ヘンリー4世」46歳(誕生13670403)
1413年3月20日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド王「ヘンリー5世」ヘンリー4世とマリー・ド・フランスの男子(~14220831死去35歳)
1413年3月21日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ウィンチェスター司教ヘンリー・ボーフート」(2期目~14170723)
1413年3月27日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョルジョ・アドルノ」(~14150323)
1413年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「パオロ・デ・ジョヴァンニ・デ・ビアンコ」(ジョヴァンニ・デ・パオリノ・ヴィーネ)
1413年4月28日-01:00|フランス| |||武装蜂起団、王太子ルイ・ド・ギユイェヌのいる「ギユイェヌ館」(4区「サン・ポール教会」の隣)に押しかける
1413年5月17日-09:00|日本| |||応永20年4月18日|伊達松犬丸(持宗)と懸田播磨守定勝入道玄昌が陸奥信夫郡の大仏城に立て籠もって反乱
1413年6月7日-01:00|イタリア| |||ナポリ王「ラファエラ」がローマを占領/教皇ヨハネス23世がローマに逃亡
1413年6月7日-09:00|日本| |||応永20年5月9日|<死去>犬王(道阿弥)(不明)猿楽師
1413年6月21日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ボヘミアン・シュテティン公「シュヴァンツェル3世」
1413年6月21日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ボヘミアン・シュテティン公「オットー2世」(~14280327死去)、「カシミール5世」(~14350413死去)
1413年8月11日-01:00|イタリア| |||ケファロニア島、ベネチア共和国保護下に入る
1413年8月29日-09:00|日本| |||応永20年8月3日|<死去>羽州探題「最上満直」満家が継ぐ(~応永31(1424)年)
1413年9月14日-09:00|日本| |||応永20年8月19日|<死去>飛騨・出雲・隠岐国守護「京極高光」子の童子丸(持高)が継ぐ(~永享11年1月14日(14390129)死去)
1413年9月22日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド王ヘンリー5世、ノルマンディーの港湾都市アルフル(オフル)を陥落させる
1413年9月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王「ジョン・デ・スタンリー」(2回目~14140106)
1413年9月25日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永20年9月|<伊集院頼久の乱(薩摩国)>島津久豊は渋谷一族を撃つために大隅国菱刈郡(鹿児島県伊佐市菱刈)に向けて出兵。清水城を留守にしたところ、伊集院頼久が夜襲。伊集院頼久の軍勢は清水城に乱入して火をかけ、城兵はことごとく討ち取られる。島津久豊は本拠地を奪われ、城を守っていた伊佐敷忠豊(佐多氏の一族)・伊地知季兼・北原弥二郎(梶原氏の一族)・北原太郎三郎・天辰式部二郎(本田氏庶流)らが戦死/佐多親久・大寺元幸・北原三郎太郎らは東福寺城に入って防戦。大隅国の下大隅(大隅国の南部)や向島(桜島)に援軍を求めた/伊集院頼久は軍を分けて、一隊に清水城を守らせ、自身は原良・小野(鹿児島市原良・小野町)に布陣/島津久豊は急ぎ鹿児島に戻って東福寺城に入った。下大隅・向島・谷山の兵が合流し、大軍をもって原良・小野の伊集院頼久を破る
1413年9月26日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<死去>上バリエン・インコルシュタット公「シュテファン3世」
1413年9月26日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>上バリエン・インコルシュタット公「ルートヴィヒ7世」シュテファン3世の息子(~1443年廃位)
1413年9月28日-09:00|日本|石川県|応永20年9月4日|<死去>太初継覚(足羽郡松陰寺開山で能登総持寺前住)
1413年10月-08:00|中国| |||明・永楽11年冬|鄭和第4次遠征出立/本隊:蘇門答刺(スマタラ)-南インド-忽魯謨厮(ホルムズ)/分遣隊:-溜山(モルディフ)-木骨都刺(東)(モグデイン)-不刺哇(ブラウ)-麻林(マリンディ)-阿丹(アデン)-刺撒(サ)-祖法児(スファール)-忽魯謨厮国(ホルムズ)
1413年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・バルチーノ」(ミケリーノ・デ・パオルッチョ)
1413年10月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュボ・ンハイム・シュタルケンベルグ伯「John4世」
1413年10月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュボ・ンハイム・シュタルケンベルグ伯「John5世」(~14371024死去)
1413年10月25日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス大元帥シャルル・ダルクははじめとするフランス王軍(アルマニャック派)が「アザンクール」の戦いでイングランド王軍に大敗/フランス大元帥シャルル・ダルクは戦死/オルアン公シャルル(1440年多額の身代金で釈放)ら多くが捕虜となる
1413年10月25日-09:00|日本|沖縄県|応永20年10月|<死去>琉球南山国王「汪応祖」兄の達勃期に殺害される
1413年11月16日-09:00|日本| |||応永20年10月23日|<死去>甲斐国守護「武田信春」信満が継ぐ(~応永24年2月6日(14170222)死去)
1413年11月24日-08:00|中国/ベトナム| |||大越・重光5年11月|大越・陳朝重光帝はラに逃げるが捕虜となり護送途

1430迄 (1296件)

中に死去/後陳朝滅ぶ

- 1413年12月5日-09:00|日本|鹿児島県|応永20年11月12日|<伊集院頼久の乱(薩摩国)>島津久豊は鹿児島を奪回/原良で追い詰められた伊集院頼久は自害しようとしたが、吉田清正・蒲生清寛がこれを止め、両国老の助命のとりなしもあって、島津久豊はこれを許した/伊集院頼久は降伏して兵を退く
- 1413年12月6日-09:00|日本|京都府|応永20年11月13日|<死去>金峰明(65歳, 前東福寺住持、但馬宗鏡寺開山)
- 1413年12月15日-09:00|日本|秋田県秋田市|応永20年11月22日|村岡国世、出羽国の河辺城に抛り持氏に反抗/この日持氏の兵同城を攻めて陥れる
- 1413年12月26日-01:00|イタリア| ||<死去>ヴェネツィア共和国元首ミケーレ・ステーノ
- 1413年12月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽11年12月8日|李氏朝鮮が全国民に号牌を着用させる
- 1414年-08:00|マレーシア| ||<死去>マラッカ王国スルタン「ハムサワラ」
- 1414年-08:00|マレーシア| ||<即位>マラッカ王国スルタン「ムガト・イスカンダール・シャー」(~1424年死去)
- 1414年-05:30|インド| ||<即位>サマ朝スルタン「Jam Tughluq」(~1442年)
- 1414年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Alauddin Firuz Shah1世」(~同年)⇒「Raja Ganesha」(1期目~1415年)
- 1414年-05:30|インド| ||<廃位>トゥグル朝スルタン「ダウラト・ハーン・ローデイー」滅亡
- 1414年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<即位>ジョチウルス・ハン「Kebek Khan」(~同年)⇒「C hokra Khan」(~1417年)
- 1414年-05:00|ウズベキスタン| ||ティムール朝シャー・ルフがファールス占領(~1415)
- 1414年-04:00|ロシア| ||<即位>金帳ハン国ハン「キョベク(ケベク)」トクマシユの三男(~同年)→「チェレ」(~1417年)
- 1414年-01:00|アルジェリア| ||<建国>トゥグルト・スルタン国(アルジェリア南部)
- 1414年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「ビ・アジ・オマリビ・エロ」(~1415年)
- 1414年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「トマーゾ・モチェーゴ」(~1423年)
- 1414年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「ジョン・アルベン」(~1419年)
- 1414年-01:00|ドイツ| ||<就任>シュボンハイム=クロイツナハ伯「Elizabeth」(~1417年)
- 1414年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Diego de Terrazza」(~1415年)
- 1414年-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事「イェンス・デュー」(2回目~1416年)
- 1414年-01:00|クロアチア| ||コルチュラ、ブラチュ、フヴァルの各諸島がラガースに占領される(~1417年ヴェネツィアに割譲)
- 1414年 00:00|イギリス| ||<辞職>第2代ケンブリッジ伯「エドワード・オブ・ノリッジ」
- 1414年 00:00|イギリス| ||<就任>第3代ケンブリッジ伯「リチャード・オブ・コンスバウ」(~1415年剥奪)
- 1414年1月4日-09:00|日本|鹿児島県|応永20年12月13日|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><小山田の戦い>伊集院頼久がふたたび軍事行動、薩摩国満家院の比志島久範を攻めた
- 1414年1月6日 00:00|マン島| ||<死去>マン王「ジョン1世・デ・スタンリー-卿」
- 1414年1月6日 00:00|マン島| ||<就任>マン王「ジョン2世・デ・スタンリー-卿」(~1437/1127死去)
- 1414年1月9日 00:00|イギリス| ||イングランドでオールド・カースルの乱が起こる
- 1414年1月12日-09:00|日本|福島県福島市|応永20年12月21日|鎌倉公方足利持氏が派遣した畠山修理大夫討伐軍に攻められ兵糧が尽き信夫郡の大仏城(伊達松犬丸(持宗)、懸田播磨守定勝入道玄昌が反乱し立て籠もっていた)陥落
- 1414年1月18日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「ダブリン大司教トマス・クランリー」(~11月)
- 1414年1月22日-09:00|日本| ||応永21年|<交替>対馬国守護「宗貞茂」⇒「宗貞盛」(~享徳元年6月22日(1452/07/09))
- 1414年1月22日-09:00|日本| ||応永21年|<任命>駿河国守護「今川範政」(~永享5(1433)年5月27日死去)
- 1414年1月22日-09:00|日本|愛知県津島市|応永21年|常霊山本興寺(湖西市鷺津)開祖日乗、尾張大橋家の招請により本蓮寺(池越町)を開基
- 1414年1月22日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応永21年|僧寂濟・隆光・光国・永春・行英・行広、清涼寺の融通念仏縁起を描く
- 1414年1月22日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|応永21年|奥山金吾正定則、高根城(水窪町)築く
- 1414年1月22日-09:00|日本|静岡県牧之原市|応永21年|能登国総持寺の大寿宗彭、曹洞宗龍門山大興寺(相良町西萩間)建立
- 1414年1月23日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永21年1月2日|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><小山田の戦い>伊集院頼久の軍勢は小山田城(鹿児島市小山田)を囲むが、城主の小山田範清(比志島氏庶流)はよく守り城は落ちず、伊集院勢は撤退
- 1414年2月20日-08:00|中国/モンゴル| ||明・永楽12年2月|明の永楽帝が第2次モンゴル遠征、ガコルム支配で増長したオライトを討つ
- 1414年3月9日-02:00|エジプト| ||<即位>カイロ・アッパース朝カリフ「ムタディト2世」(~1441年)
- 1414年3月10日-01:00|イタリア| ||ベネツィア、ミノ公と五年間の同盟
- 1414年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ルナルディニ」「アントニオ・デ・イ・マリノ・デ・イ・フォスコ」
- 1414年4月23日-09:00|日本| ||応永21年4月4日|<死去>美濃国守護「土岐頼益」持益が継ぐ(~康正2(1456)年利永に敗れて隠居)
- 1414年5月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「河崙」(~1415/06/23)
- 1414年5月16日 00:00|イギリス| ||<就任>グロスター公・ペンブルク伯「ハンプリー・オブ・ランカスター」(~1447/02/23死去)
- 1414年5月16日 00:00|イギリス| ||<就任>ベットフォード公「ジョン・オブ・ランカスター」ヘンリー4世の三男(~1435/09/14死去)
- 1414年5月28日-05:30|インド| ||<即位>サイイト朝スルタン「ヒズル・ハーン」建国(~1421/05/20死去)

1430迄 (1296件)

1414年6月25日-09:00|日本| ||応永21年6月8日|<解任>加賀国守護「斯波満種」将軍の怒りに触れ高野山に閉居
1414年6月25日-09:00|日本| ||応永21年6月8日|<任命>加賀南半国守護「富樫満春」(⇒応永25(1418)年11月22日
加賀一國守護)、加賀北半国守護「富樫満成」(~応永25(1418)年11月22日解任)
1414年7月17日-09:00|日本|茨城県常総市|応永21年7月|僧嘆譽良肇、下総国飯沼に弘経寺を創建
1414年7月17日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永21年7月|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><給黎城攻防戦>島津久
豊が吉田衆・蒲生衆らを率いて薩摩国給黎郡(鹿児島市喜入)に侵攻。給黎城を囲むが落とせず
1414年8月2日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「イリ1世」共同統治(1回目~14311102)
1414年8月6日-01:00|イタリア/クロアチア| ||<死去>ナポリ王「ラファエラ1世」兼クロアチア王「ラファエラ」
1414年8月6日-01:00|イタリア| ||<即位>ナポリ王「ジョヴァンナ2世」(~14350202死去)
1414年9月-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「イサキ1世」(~1429年死去)
1414年9月14日-09:00|日本| ||応永21年8月|遠敷郡安養寺の仏殿と山門が造営される
1414年9月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽12年9月|朝鮮で倭人犯罪論決法を定める
1414年9月14日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永21年8月|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><給黎城攻防戦>伊集院
頼久は給黎の松ヶ平・荒平に進軍。島津久世・伊作久義も応じて援軍を出す。島津久豊は、本田重恒(国老)を派遣
して河邊勢・伊作勢を攻撃させるが敗れ、伊集院頼久は勢いに乗って給黎城に入った
1414年9月14日-08:00|中国/ベトナム| ||明・永楽12年9月|明の永楽帝はベトナム固有の言語、風俗を否定し中国風制
暴政を敷き、土地税、人頭税、軍役、労役を課す
1414年9月19日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永21年8月6日|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><給黎城攻防戦>島津
久豊は鹿児島に撤退しようとしたところ、肥後国球磨郡(熊本県人吉市あたり)の相良氏の援軍が到着軍を反転
再び伊集院頼久を薩摩国給黎城に攻め落城させた
1414年9月22日-09:00|日本| ||応永21年8月9日|幕府が、道祖小路・天王寺の土民が油を商売することを禁止
1414年10月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ミクロシュ・チャキ」(2回目~1426年)
1414年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ベネディクト・ディ・トセッ」(ミクリノ・ディ・ベラルド)
1414年10月14日-09:00|日本| ||応永21年9月|今川了俊「言塵集」成立させる
1414年10月14日-09:00|日本|三重県|応永21年9月1日|<北畠満雅の挙兵(伊勢国)>皇統が明德の和約に反し持明
院統から大覚寺統に譲られないことを不服とし幕府に条件履行を迫って伊勢で挙兵/満雅は幕府方の城や足利
方についた北畠一族の木造俊康の坂内城を攻め落とし、坂内雅俊(木造俊康の実弟、坂内氏初代)を木造城に、実
弟・顕雅(大河内氏初代)を大河内城に入れ、玉丸城・多気城・坂内城にも一族を配し満雅自身は阿坂城に入る
1414年10月17日-01:00|イタリア/トルコ| ||ベネチア、トルコの سلطان と平和条約
1414年11月 00:00|アイスランド/イギリス| ||<就任>アイスランド 副王「タルボット卿ジョン・タルボット」(1回目~14200306)
1414年11月25日 00:00|イギリス| ||<就任>リッチモンド 伯「ジョン・オブ・ランカスター」(~14350914)
1415年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「ダラバク・ハーン」
1415年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「オラダ・イ・ハーン」(~1425年没)
1415年-05:30|インド| ||<建国>キェー国
1415年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Jalaluddin Muhammad Shah」(1期目~1416年)
1415年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキー・ナストニク「アントレイ・アレクサンドロヴィチ」(~1417年)
1415年-03:30|イラン/イラク| ||<即位>シャイラル朝第9代国王「シャイフ・ウグアイス2世」ワリトの子(~1421年)
1415年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| ||<即位>アダル・スルタン国スルタン「SabiradDin2世」(~1422年死去)
1415年-03:00|エチオピア/ソマリア| ||イェジャク王、ムスリム王国ワットに侵入し王を殺害/ワット王国は都をダカルに移し国名をワ
タルと改める
1415年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「ピエトロ・チヴァーノ」(~1417年)
1415年-01:00|イタリア| ||<死去>エフィソ境界伯「アツォ10世」
1415年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ベルトゥッチョ・コンタリーニ」(~1417年)
1415年-01:00|イタリア| ||<就任>エフィソ境界伯「タッデオ」(~14480621死去)
1415年-01:00|フランス| ||<就任>オマル伯「John6世」(~14240817死去)
1415年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Lupo Terrazza」(~1418年)
1415年-01:00|ドイツ| ||<就任>リュッケン公「スヴァンティボル2世」(~1432年)
1415年-01:00|フランス/イギリス| ||イギリス軍はノルマンディーを一時的に再占領(~1450年)
1415年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド 支配者「アルニ・オラフソン」(~1419年)
1415年 00:00|ポルトガル| ||<就任>グイエウ公「エンリケ航海王子」(~14601113死去)ジョアン1世の三男
1415年 00:00|イギリス| ||<就任>ケンブリッジ 伯「リチャード」(~14601230死去)
1415年 00:00|イギリス| ||<剥奪>第3代ケンブリッジ 伯「リチャード・オブ・ユースバウ」(~14150805死去)
1415年 00:00|ヨーロッパ| ||ヨーロッパで軸受付の羅針盤がこのころから使用される
1415年1月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| ||<復位>ボスニア王「ステパン・トヴルトコ2世トヴルトコヴィッチ」ハンガリーが支持して内戦
勃発復帰(2回目~8月)
1415年2月10日-09:00|日本| ||応永22年|<任命>肥前国守護「渋川満頼」(~応永26(1419)年隠居)
1415年2月10日-09:00|日本|愛知県犬山市|応永22年|日峰宗舜、尾張国犬山に瑞泉寺を開創
1415年2月10日-09:00|日本|愛知県名古屋市中熱田区|応永22年|<焼失>熱田大福田社
1415年2月10日-09:00|日本|沖縄県|明・永楽13年|<即位>琉球南山国王「他魯每」(~1429年死去滅亡)
1415年2月10日-09:00|日本|京都府京都市|応永22年|日隆聖人によって京都油小路高辻と五条坊門の間に本応寺
創建<法華宗本門流>
1415年2月10日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|応永22年|甲州深沢小次郎の後裔深沢一族、追分に移住し日蓮

1430迄 (1296件)

宗妙泉寺を開基

1415年2月10日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永22年|日蓮宗の本久寺(浜松市都田町)創建
1415年2月10日-09:00|日本|奈良県奈良市|応永22年|<建立>興福寺東金堂の金堂薬師像
1415年2月10日-09:00|日本|奈良県奈良市|応永22年|<再建>興福寺東金堂
1415年2月10日-08:00|中国| ||明・永楽13年|<死去>モグーリスタン・ハン国ハン「ムハンマド」
1415年2月10日-08:00|中国| ||明・永楽13年|<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「ナシ・ジャハン」(~1418年死去)
1415年3月29日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「パルパ・ガロ」(~7.3)
1415年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ベッティーノ・デ・イ・パ・オロ」
1415年4月12日-01:00|フランス| ||<死去>サンポール伯「リネー伯「フレラン3世」
1415年4月12日-01:00|フランス| ||<就任>サンポール伯「リネー伯「フィリップ1世」(~14300804死去)ブラバント公およびリンブルフ公、アントワープ・ブルゴニユとフレラン3世の娘ジャンヌの子
1415年4月30日-01:00|ドイツ| ||<就任>ブランデンブルク選帝侯「フリードリヒ1世」
1415年4月30日-01:00|ドイツ| ||<退任>ブランデンブルク選帝侯「ジギスムント」
1415年5月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト＝ベルンブルク侯「Otto4世」
1415年5月15日-09:00|日本|三重県松阪市|応永22年4月7日|<北畠満雅の挙兵(伊勢国)>第4代將軍足利義持は、土岐持益を大将とし伊勢に侵攻、阿坂城まで迫るが、攻め落とすことができず
1415年6月8日-09:00|日本| ||応永22年5月2日|<更迭>関東管領「(犬懸)上杉氏憲(禅秀)」
1415年6月24日-09:00|日本| ||応永22年5月18日|<任命>関東管領「上杉憲基(山内)」(~応永24(1417)年4月28日死去)
1415年7月-08:00|中国| ||明・永楽13年|鄭和第4次遠征本隊帰国
1415年7月4日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「トマス・デ・イ・カンポ・フレゴース」(1期目~14211123ミラノにより支配)
1415年7月4日-01:00|パチカン| ||<退任>第205代ローマ教皇「グレゴリウス12世」
1415年7月6日-01:00|チエコ/スロバキア| ||ホヘミアの宗教家ヤン・フスが火刑に処せられる(フス戦争の発端)
1415年7月19日 00:00|ポルトガル/イギリス| ||イギリスのランカスター公の娘でポルトガル王ジョアン1世の妃フィリパが病没(誕生:1359)
1415年7月31日 00:00|イギリス| ||ヘンリー5世を廃位させようとした貴族たちの陰謀が発覚し、関係者が処刑される
1415年8月5日-09:00|日本| ||応永22年秋|浄土宗第七祖了誉聖岡上人が無量山伝通院寿経寺建立
1415年8月12日-01:00|フランス/イギリス| ||イングランド王ヘンリー5世、1400艘の船で海峡を渡りノルマンディー北岸ラ・エウグに上陸し、「英仏戦争」が再開
1415年8月13日-01:00|フランス/イギリス| ||ヘンリー5世がフランスへ進撃開始
1415年8月14日 00:00|ポルトガル| ||<就任>コインブラ公「ペドロ」(~14490520死去)ポルトガル王ジョアン1世の次男、摂政
1415年8月15日 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||ポルトガル王ジョアン1世とエンリケ航海王子を含む3人の王子の指揮する大艦隊が、北アフリカのセウタを占領
1415年8月17日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| ||<死去>リグォニア騎士団団長「ティートリッヒ・トルク」
1415年8月20日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<死去>ボンメルン＝ヴァルカースト公「ヴァルティスラフ8世」
1415年8月20日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ボンメルン＝ヴァルカースト公「アグネス・フォン・ザクセン＝ラウエンブルク」(~1425年~1435年死去)
1415年8月29日-09:00|日本|愛媛県松山市|応永22年7月25日|河野通之、被官重見通勝と温泉郡御幸寺山で戦って敗死、ついで子通元ら重見氏を日高山城に攻めて自殺させる
1415年9月-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| ||<就任>リグォニア騎士団団長「ジークフリート・ラングー・フォン・スポンハイム」(~14240331没)
1415年9月2日-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(1期目~1424年)
1415年9月2日-01:00|スペイン/ポルトガル| ||セウタはポルトガルが所有
1415年9月4日-09:00|日本|愛知県知多郡美浜町|応永22年8月|覚慶、尾張国大御堂寺の大日如来坐像を造立
1415年9月14日 00:00|イギリス| ||<死去>サフォーク伯「マイケル・ド・ラ・ポール」
1415年9月14日 00:00|イギリス| ||<就任>サフォーク伯「マイケル・ド・ラ・ポール」(~10.25死去)
1415年9月21日-09:00|日本|愛知県豊川市|応永22年8月18日|一色義範、三河国御津大明神の社殿を建立
1415年9月22日-01:00|フランス/イギリス| ||イングランド王ヘンリー5世の包囲を受けたアルフルール(オンフルール)が降伏
1415年9月22日-09:00|日本|三重県|応永22年8月19日|<北畠満雅の挙兵(伊勢国)>第4代將軍足利義持は後亀山法皇の仲介のもと北畠満雅と和睦
1415年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「パオリノ・デ・イ・ジョヴァンニ・デ・イ・ビアンコ」
1415年10月3日-08:00|中国| ||明・永楽13年9月|明が科举用教科書の3大全「五経大全」「四書大全」「性理大全」を完成
1415年10月13日 00:00|イギリス| ||<死去>アランデル伯・サリ伯「トマス・フィッツアラン」
1415年10月13日 00:00|イギリス| ||<就任>アランデル伯「ジョン・フィッツアラン」(~14210421死去)
1415年10月25日-01:00|フランス| ||<死去>ヌヴェール伯・ルテル伯「フィリップ2世」
1415年10月25日-01:00|フランス| ||<死去>パル公「エドゥアール3世」
1415年10月25日-01:00|フランス/オランダ/ベルギー/ルクセンブルグ| ||<死去>ブラバント公・リンブルフ公「アントワープ」兼ルクセンブルグ公「アントニー」フランスのアジヤケルで行われた戦いで戦死
1415年10月25日-01:00|フランス| ||<就任>ヌヴェール伯・ルテル伯「シャルル1世」(~14640525死去)

1430迄 (1296件)

1415年10月25日-01:00|フランス| |||<就任>パル公「ルイ1世」(~14300623死去)
1415年10月25日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<即位>ブラバント公・リンブルク公「ジャン4世」(~14270417死去)
1415年10月25日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス騎兵(「アルマニャック派」貴族主体の軍)、フランス北部の「パ・ド・カレー」の「エタン」近くの「アザンクル」の戦いで、イングランド王ヘンリー5世の「長弓隊」に大敗
1415年10月25日 00:00|イギリス/フランス| |||<死去>第2代ヨーク公・オマール公・ラランド伯「エドワード・オブ・ノリッジ」
1415年10月25日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー島・ガーンジー島主「Edward」
1415年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯「マイケル・ド・ラ・ポール」
1415年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ヨーク公「リチャード・オブ・ランカスター」(⇒14250128兼マーチ伯・アールスター伯~14601230死去)
1415年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「ウィリアム・ド・ラ・ポール」(⇒14440914サフォーク侯爵⇒14480702サフォーク公~14500502死去)
1415年11月19日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「成石璘」(~14160620)
1415年11月27日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー島・ガーンジー島主「John」(~14350914死去)
1415年12月18日-01:00|スイス| |||スイス盟約者団がアルカウを占領/最初の「共同支配地」と
1415年12月18日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル6世の子で王太子のギユイエンヌ公妃が死去し、弟「トゥーレーヌ公」ジャン(ジャン・ド・ヴァロワ)が王太子となる
1415年12月26日-09:00|日本| |||応永22年11月25日|將軍義持が琉球の尚思紹に返書を送る(日琉国交の始め)
1416年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「ウン・ムン(サムセン・タイ)王」
1416年-07:00|タイ| |||<即位>カオ王王国国王「パン」(~1425年)
1416年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「ラン・カムデー王」(~1428年死去)
1416年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Raja Ganesha」(2期目~1418年)
1416年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「ナシジ・ジャハン」ヒズル・ホージャの子シャヒ・ジャハンの子(~1418年)
1416年-03:30|イラン| |||ティムール朝のシャー・ルフがケルマーンを占領
1416年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマダニス・ハン「Ibrahim2世・ベイ」(~1418年)
1416年-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サルツァ侯「トマーゾ3世」
1416年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「Georges de la Tremoille」(~1422年)
1416年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公・ヒトム公「コンラト6世Dziekan」(~14270903死去)、「コンラト8世」(~1427年);ヒトム公「コンラト7世」(~1450年)
1416年-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サルツァ侯「ルドヴィーゴ1世」(~1475年死去)
1416年-01:00|アフガニスタン| |||<就任>スラフ・オア全土のハン「デ・イオツィ4世 ラウヴィッチ」(~1418年)
1416年-01:00|ドイツ| |||<就任>プラウシュヴァイク・ヴ・オルフェンビュッテル侯「ヴィルヘルム1世」(~14820725死去)
1416年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Jean Dunois」(~1417年)、「Charles of Le Maine」(~1417年)、「Charles of Valois」(~1417年)
1416年-01:00|フランス| |||<就任>モンパンス伯「Marie of Valois」(~1434年)
1416年-01:00|イタリア/フランス| |||<昇格>サヴォイア伯「アメーノ8世」⇒サヴォイア公(~14400106譲位~14510107死去)
1416年-01:00|イタリア| |||<即位>シチリア王「アルフォンソ1世」アラゴン王アルフォンソ5世(~1458年)ナポリ王国を征服し正式に2つの王国を統合
1416年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュタルクホルスト=シュテルンベルク公「ヨハン3世」ヨハン2世の息子(~1438年死去)
1416年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー島守護者「Henri Mulso」
1416年 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター公「トマス・オブ・フォート」(~14261231死去)
1416年 00:00|ポルトガル| |||エンリケ航海王がサリスを拠点に探検航海を開始
1416年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||ジェー島のフランスの修道院は閉鎖されヘンリー5世の領地の一部となる(~1717年まで無人)
1416年1月30日-09:00|日本| |||応永23年|<交替>相模国守護「三浦高明」解任⇒「上杉定頼」(~応永33(1426)年)
1416年1月30日-09:00|日本| |||応永23年|<死去>安房国守護「木戸満範」⇒「上杉定頼」(~不詳)
1416年1月30日-09:00|日本|沖縄県|応永23年|<死去>琉球北山国王「攀安知」滅亡
1416年1月30日-09:00|日本|沖縄県|応永23年|尚巴志が北山王国を討伐/北山王の攀安知を攻め滅ぼした(琉球)
1416年1月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|応永23年|今川範政、高天神城を築き、山内玄蕃正久通に城代命じる
1416年1月30日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|応永23年|吉良義真、在天弘雲を開山に、広沢山普濟寺(浜松市広沢町)末で曹洞宗寺院の宝蔵山宗源院(浜松市蜷塚町)開基
1416年1月30日-08:00|中国/ベトナム| |||明・永楽14年初|藍山地域で勢力を持つ豪族、黎利は蜂起の指導部18人とともに、隴崖(清化)で宣誓会を行い、宣誓文を読み上げ反明蜂起
1416年2月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ルマイタ・ブン・ムハンマド」(~12月)
1416年2月7日-09:00|日本|京都府京都市北区|応永23年1月9日|北山に造営中の七重塔、雷火で焼失
1416年2月11日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|応永23年1月13日|島津久世は宿舎としていた千手堂坊(場所は清水城の域内か)で自害/従者11人も殉死
1416年3月15日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公・エタン伯「ジャン1世」兼ホワティエ伯「ジャン2世」
1416年3月15日-01:00|フランス| |||<就任>ペリー公「ジャン」兼ホワティエ伯「ジャン3世」シャルル6世の四男で4人目の王太子(~14170405死去)
1416年3月18日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーサンバランド伯「ヘンリー・パーシー」初代伯の孫(~14550522死去)
1416年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ルナティニ」(「ジョヴァンニ・デ・パオリ・ノ・ヴァイトーラ」)

1430迄 (1296件)

1416年4月2日-01:00|スペイン/イタリア| |||<死去>アラゴン王兼サルデーニャ国王兼シチリア王「フェルナンド1世」兼バルセロナ伯「フェラン1世 アンテケ」(誕生1379年頃)

1416年4月2日-01:00|スペイン/イタリア| |||<即位>アラゴン王兼サルデーニャ国王「アルフォンソ5世」兼シチリア王「アルフォンソ1世」兼バルセロナ伯「アルフォンソ4世寛大王」フェルナンド1世とレオノール・デ・アルブルケルクの息子(〜14580627死去52歳)

1416年4月3日-09:00|日本|京都府京都市|応永23年3月6日|五条万里小路より失火、数10町焼亡

1416年5月5日-09:00|日本|静岡県富士宮市|応永23年4月8日|日伝、大石寺との係争に敗れたため、小泉久遠寺を蓮蔵坊と定め日郷門徒の総本寺とし、弟子円乗坊日宣に譲る

1416年5月19日-01:00|イタリア/トルコ| |||ヴァンツィア艦隊が、ガリポリでオスマン海軍を撃破

1416年6月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「南在」(〜11. 20)

1416年6月29日-09:00|日本|愛知県津島市|応永23年6月5日|尾張国津島社本社の遷宮が行われる

1416年7月 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティンドン伯「John Holland」(〜14470805死去)

1416年7月8日-09:00|日本|長野県大町市|応永23年6月14日|仁科盛房、安曇郡仁科神明の式年造営を行ひ、是日、遷宮

1416年7月25日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永23年7月|仙洞御所焼亡

1416年8月15日-01:00|ドイツ/イギリス| |||イギリスのヘンリ5世とドイツ皇帝ジギスムントの同盟のカタヘリ条約が結ばれる

1416年9月6日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>ヴェルデンベルグ伯・フアド・カーツ卿「ハルマン2世」

1416年9月6日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>フランドーイ卿「ヴォルフハルト1世」(〜1418年)

1416年9月21日-09:00|日本|愛知県一宮市|応永23年9月|尾張国妙興寺住持惠疑、南浦紹明像を修理し、滅宗宗興像を造立

1416年10月1日-02:00|ギリシャ| |||<死去>アフィの領主「ヤコフ・フ・ア・シハ・タ」

1416年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ミケリーノ・デ・イ・パ・オルツィョ」「シ・ヨウ・アンニ・デ・イ・パ・シーノ・ベ・ン・ウ・エ・ガ・ヌ・デ・イ」

1416年10月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>リュネブルグ侯「ハインリヒ寛大公」

1416年10月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブルグ侯「ヴィルヘルム勝利公」(〜1428年), 「ハインリヒ2世平和公」(〜1428年)

1416年10月22日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永23年10月2日|<上杉禅秀の乱(相模国、武蔵国、駿河国、甲斐国)>戊の刻頃、足利満隆が御所近くの宝寿院に入り拳兵し、上杉氏憲と共に関東公方足利持氏・憲基拘束に向かう/化粧坂では持氏方の三浦高明が守備に就くなどしていたが、鎌倉は混乱しその隙に持氏らは家臣に連れられて脱出/その後、氏憲と満隆は合流した諸氏の兵と共に鎌倉を制圧下に置いた

1416年10月26日-09:00|日本|神奈川県小田原市|応永23年10月6日|<由良浜合戦>足利持氏・上杉憲基・佐竹義憲、小田原に敗走/江戸遠江守・今川三河守式部大輔朝広・畠山伊豆守討死/足利持氏、小田原にて土肥・土屋氏に攻められ、箱根別当證実(大森頼春弟)の許に逃れる/一色兵部大輔憲元・一色右馬助・今川修理亮討死

1416年10月28日-09:00|日本|神奈川県藤沢市|応永23年10月8日|<死去>扇谷上杉家当主「上杉氏定」(43歳)上杉禅秀の乱に出陣し、反乱軍に敗れ負傷し、藤沢道場において自刃

1416年10月30日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|応永23年10月10日|奈古谷国清寺の足利持氏・山内上杉憲基2百余人、上杉禅秀方狩野介茂直を大将に伊豆山権現衆徒540人に攻められる/木戸左近将監満範ら21人、上杉憲基・佐竹義憲を越後に落とさせてから高矢倉にて討死

1416年11月15日-01:00|アンドラ| |||<就任>アンドラ公共同大公「ウルヘル司教フランチスコ・ト・トゥ・イ」(〜14360414)

1416年11月18日 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター公「トマス・ホーフォート」ド・セト伯(〜14261231死去)

1416年11月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳廷顕」(〜14180708)

1416年11月20日-09:00|日本| |||応永23年11月|<交替>豊後国守護「大友親世」⇒「大友親著」(〜応永33年11月29日(14261227)死去)

1416年12月6日-09:00|日本| |||応永23年11月17日|<死去>近江国守護「六角満高」満綱が継ぐ(〜嘉吉元(1441)年解任)

1416年12月9日-09:00|日本| |||応永23年11月20日|<死去>伏見宮栄仁親王(66歳)皇族

1416年12月16日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ハサン・ブン・アジ・ユラ」(〜14240406)

1416年12月24日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永23年12月6日|松山城主上田上野介鎌倉六本松にて討ち死に

1417年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王ラン・カム・デーン王(〜1428年)

1417年-05:30|インド| |||ハフマニ朝がグイジャヤガル朝のバングルの要塞を包囲

1417年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>ジ・ウ・ウルス・ハン「Jabbar Berdi Khan」(〜1419年死去)

1417年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国(青帳ハン)ハン「ジ・ヤッパ・ル・ベ・ル・デ・イ」トクタミシュの四男(〜1419年)

1417年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「フョートル・アレクサンドロウイチ」(〜1420年)

1417年-04:00|ロシア| |||<即位>ロストフ・ボリソグレフスキー公「フョートル・アレクサンドロウイチ」(〜1418年)

1417年-03:30|イラン| |||<即位>ハザーラス朝君主「Shah Husayn」(〜1424年)

1417年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「エジ・デ・イ・モロシーニ」(〜1418年)

1417年-02:00|エジプト| |||マムルーク朝がズルカテイル国を服属

1417年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツツ執達吏・長官「ヤコブ・ダ・ルナ」(〜1419年)

1417年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>カトリック伯「ジョージ」(〜1419年)

1417年-01:00|フランス| |||<就任>ギーズ伯「ルネ1世」(〜1425年)

1417年-01:00|イタリア| |||<就任>グラーフィナ伯「Francesco Orsini」(⇒1436年グラーフィナ公〜1456年死去)

1417年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「アンダー・ス・ヤコブ・セン・ルンゲ」(2時間目〜1423年)

1417年-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「Lenihan von Weideburg」(〜1419年)

1430迄 (1296件)

1417年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホーエンメルン＝ガールガースト公「ヴァルティスラフ9世」(~14570417死去)、「ハルニム7世年長公」(~14500922死去)

1417年-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「Louis3世」(~1436年)

1417年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<昇格>クレフェ＝マルク伯「アドルフ1世」⇒クレフェ公・マルク伯(~14480923死去)

1417年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>下バリエル＝シュトラウベング公「ヨハ3世」(~1425年)

1417年-01:00|アルバニア/トルコ| |||アルバニアをオスマン帝国が統治(~14440302)

1417年 00:00|マン島| |||<就任>マン島知事「John Letherland」(~1418年)

1417年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第3代国王「チマルカ・ホカウツィリウトル」の息子(~1427年)

1417年1月9日-09:00|日本|静岡県|応永23年12月22日|駿河に攻め入った上杉禅秀方岩松治部大輔持国を、横尾・長尾が防ぐ

1417年1月12日-09:00|日本|埼玉県|応永23年12月25日|上杉憲方、江戸・豊島・二階堂らと入間川に戦い敗走

1417年1月15日-09:00|日本|神奈川県|応永23年12月28日|夜、入江庄北に陣した上杉禅秀方千葉・小山・佐竹・三浦・芦名・川越・宇都宮4万騎を、入江宿山西に陣した足利持氏方由比・入江・高橋・竹下2百騎乱射し夜襲/禅秀側敗走し箱根水呑に陣/先陣葛山次郎備中守維元・荒河治部大輔・大森式部大輔氏頼・瀬名陸奥守、足柄越え曾我・中村攻落し小田原陣/朝比奈・三浦・北条・小鹿、箱根山越え、伊豆山衆徒と土肥・土屋・中村・岡崎攻落とし、小田原国府津前川に陣

1417年1月18日-09:00|日本|鹿児島県|応永24年|<伊集院頼久の乱(薩摩国)><河邊の戦い>島津久豊は河邊の総州家を攻める/河邊の松尾城を守る総州家老中の酒匂紀伊守が島津久豊に内応し、島津久豊の兵が松尾城に入り、河邊城(平山城)を攻めようと構えた⇒<鳴野原合戦>島津久豊軍の大敗北/和泉直久・和泉忠次・蒲生清寛・伊地知将監・田代久助・上井筑前守・禰寝清平・禰寝清息(清平の弟)などが戦死/河邊城(平山城)を攻撃していた島津久豊の本隊も苦戦し、松尾城へ退いた/和平はなり島津久豊は鹿児島に帰った⇒伊集院頼久の谷山城(鹿児島市谷山)を島津久豊が3000騎を率いて攻め、伊集院頼久は降伏/伊集院頼久の反乱は、これにて終結

1417年1月18日-08:00|中国/ベトナム| ||明・永楽15年|明は安南国を交趾郡に変えて国土を併合/人口520万人

1417年1月18日-09:00|日本| ||応永24年1月|<交替>下総国守護「千葉満胤」隠居⇒子の「千葉兼胤」(~永享2(1430)年6月17日死去)

1417年1月18日-09:00|日本|神奈川県横浜市瀬谷区|応永24年1月1日|<世谷原の戦い(武蔵国)>世谷原の戦いで氏憲軍が江戸・豊島連合軍を破り、押し返すがその間隙を突いて今川軍が相模に侵攻

1417年1月26日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|応永24年1月9日|今川範政の部将三浦次郎左衛門・石川相模守、関東の諸家と共に上杉禅秀が箱根山の陣を攻める/足利持仲・足利満隆・上杉禅秀は鎌倉へ逃げる

1417年1月27日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永24年1月10日|今川方の部将江戸・豊島は二隊に分かれて鎌倉に攻入る/禅秀子宝性院快尊法印の雪下御坊で、足利持仲・足利満隆・上杉禅秀・子上杉伊予守憲方・子上杉五郎憲春・武蔵守護代兵庫助氏春ら一族42人・従者57人自害/犬懸上杉家は滅亡

1417年2月1日-09:00|日本| ||応永24年1月15日|<死去>冷泉為尹(57歳)権大納言、歌人

1417年2月11日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|応永24年1月25日|上杉禅秀方第十代原下総守忠政、金沢合戦で討死

1417年2月15日 00:00|イギリス| |||<死去>11代オックスフォード伯「リチャード・ド・グアイア」

1417年2月15日 00:00|イギリス| |||<就任>12代オックスフォード伯「ジョン・ド・グアイア」先代の子(~14620226死去)

1417年2月22日-09:00|日本|山梨県山梨市|応永24年2月6日|<死去>甲斐・安芸国守護「武田信満」鎌倉府の命で上杉憲宗に攻められ木賊山で自害

1417年2月23日-09:00|日本|京都府京都市|応永24年2月7日|山科郷民と醍醐郷民との抗争で、侍所の兵が向かい侍所・民家数百軒が焼失

1417年2月28日-09:00|日本| ||応永24年2月12日|<死去>伏見宮治仁王(48歳)皇族

1417年3月5日-02:00|トルコ| |||<即位>トビズント帝国第19代皇帝「アレクシオス4世」(~1429. 10)

1417年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモネ・ディ・メンギーノ・カルチニ」「フォスキノ・ディ・ベネデット・マトロニ」

1417年4月5日-01:00|フランス| |||<死去>トゥーレーヌ公・ベリー公「ジャン」兼ボワティエ伯「ジャン3世」

1417年4月5日-01:00|フランス| |||<就任>ベリー公「シャルル」フランス王シャルル6世の子(⇒シャルル7世~14610722死去)兼ボワティエ伯(~14221021)

1417年4月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク＝シュトラルホルム＝ノイブレンデンブルク公「ウルヒヒ1世」

1417年4月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク＝シュトラルホルム＝ノイブレンデンブルク公「アルブレヒト2世」ウルヒヒ1世の息子、共同統治者(~1423年);「ハインリヒ」ウルヒヒ1世の息子(~1466年)

1417年4月29日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>ナポリ国王・アンジュー公・プロヴァンス伯・メヌ伯「ルイ2世」39歳

1417年4月29日-01:00|イタリア/フランス| |||<即位>ナポリ対立王「ルイジ3世」(~1426年)兼アンジュー公・プロヴァンス伯・メヌ伯「ルイ3世」ナポリ王・フォルカルギエ伯・ヒモンテ伯(~14341112死去31歳)

1417年5月10日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|応永24年4月24日|足利持氏が常陸国稲木城を攻略

1417年5月12日-09:00|日本| ||応永24年4月26日|<辞任>関東管領「上杉憲基(山内)」

1417年5月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク伯「エーバーハルト3世」

1417年5月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>グェルテンベルク伯「エーバーハルト4世」(~14190702死去)

1417年5月17日-09:00|日本| ||応永24年5月|山入与義は、常陸守護佐竹義意に対する反発から、甲斐武田氏らとともに兵を挙げる

1417年5月31日-01:00|オーストリア/ドイツ/オランダ| |||<死去>下バリエル＝シュトラウベング公「ヴィルヘルム2世」兼エノー伯「ギヨーム4世」

1417年5月31日-01:00|オーストリア/ドイツ/オランダ| |||<即位>下バリエル＝シュトラウベング公「ヨハ3世」アルブレヒト1世の3男、ジャクリ

1430迄 (1296件)

-ヌと争う(〜14250106死去)、公女・エノ伯「ジャクリヌ」が「イルヘルム2世の娘(〜14330412廃位)」
1417年6月-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド王軍、フランス艦隊(アルニャック派)を破る
1417年6月-01:00|アルバニア/トルコ| |||オスマン帝国がウエーロナを占領
1417年6月14日-09:00|日本|埼玉県|応永24年5月29日|上杉禅秀と党の岩松満純が再度そむいて武蔵入間川の戦いに敗れて捕らえられる
1417年6月27日-09:00|日本|神奈川県藤沢市|応永24年閏5月13日|<死去>岩松満純(不明) 武将/入間川の戦いで足利持氏に敗れて捕縛され、鎌倉・竜の口で斬首
1417年7月14日-09:00|日本| |||応永24年6月|<任命>甲斐国守護「武田信元」(〜応永26(1419)年)
1417年7月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「Waldemar4世」
1417年7月23日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ダラム司教トマス・ラングレイ」(2期目〜14240716)
1417年7月27日-01:00|フランス/パチカン| |||<解任>アヴィニオン対立教皇「ベネディクトゥス13世」
1417年8月1日-01:00|フランス/イギリス| |||<ルマンディエ遠征>イングランド王軍、ルマンディエに上陸
1417年8月12日-09:00|日本| |||応永24年6月30日|<再任>関東管領「上杉憲基(山内)」(〜応永25(1418)年1月4日死去)
1417年9月20日-01:00|フランス/イギリス| |||ルマンディエに侵攻していたイギリスのヘンリー5世がカン市を攻略
1417年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジョアンニ・デ・ウコ・リノ・デ・イ・ジョアンニ」「チェッコ・デ・イ・マリノ・デ・イ・ファスコ」
1417年10月18日-01:00|パチカン| |||<死去>205代ローマ教皇「グレゴリウス12世」享年92
1417年11月9日-01:00|スペイン| |||<死去>グアラタ王国ナシル朝アミール「ユースフ3世」
1417年11月9日-01:00|スペイン| |||<即位>グアラタ王国ナシル朝アミール「ムハンマド8世」(〜1419年退位)
1417年11月10日-09:00|日本|熊本県熊本市中央区|応永25年10月2日|熊本藤崎八幡宮の女神像できる
1417年11月11日-01:00|パチカン| |||<就任>第206代ローマ教皇「マルティヌス5世」(〜14310220死去)
1417年12月-08:00|中国| |||明・永楽15年冬|鄭和第5次遠征(東アフリカ)出立/本隊は前回と同じくアデンまで到達したが、途中で分かれた分隊はアフリカ大陸東岸のマリンディにまで到達
1417年12月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|応永24年10月29日|清水寺北斗堂焼失
1417年12月8日-09:00|日本|京都府京都市右京区|応永24年10月30日|足利義嗣は京都を脱出するが、間もなく義持側近であった富樫満成に高雄で捕らえられ、義嗣の身柄は仁和寺から相国寺へ幽閉されて出家させられた
1417年12月9日-09:00|日本| |||応永24年11月|<解任>伊勢国守護「土岐持頼」
1417年12月11日-09:00|日本|愛知県豊川市|応永24年11月3日|一色義貫ら、三河国菟足大明神の社殿を再興
1417年12月23日-01:00|フランス| |||王妃イザボート・バウ・イエールと、故フィリップ2世(豪胆公)の長男「ブルゴーニュ公」ジャン1世、パリの南東トロワに「対立政府」を樹立
1418年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・サディク・ムハンマド・シャー」(〜1429年)
1418年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Jalaluddin Muhammad Shah」(2期目〜1433年)
1418年-05:00|イスパキスタン| |||<即位>モグーリスタン・ハン国ハ「ワイス」ヒズル・ホージャの子シル・アリーの子(〜1421年)
1418年-02:00|キリシヤ| |||<死去>ナクス公「ジャコモ1世」
1418年-02:00|キリシヤ/イタリア| |||<就任>ウエネツィアのカンティエラ公「ヤコポ・グッツォーニ」(〜1419年)
1418年-02:00|キリシヤ| |||<就任>ナクス公「ジョアンニ2世」(〜1433年没)
1418年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴァニアのレヴァル司令官「デイトリッヒ・デューエッカー」(〜1421年)
1418年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Izzeddin Hamza・ベイ」(〜1426年)
1418年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムミ「ミバンツァエ1世」セロロゴロ1世ムバシ(〜1444年)
1418年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Ruggiero de Serriano」(〜1428年)
1418年-01:00|リトエンシュタイン| |||<就任>ブランディス卿「ヴォルフハルト2世」(〜1459年没)
1418年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Edward Holland」(〜1419年)
1418年-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ワレンローデのヨハネ」(〜1419年)
1418年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク公「ヨハン5世」ヨハン4世の息子(〜1442年)アルブレヒト5世と共同統治
1418年-01:00|ベルギー| |||<退任>リエージュ公「バリエルのヨハネ」
1418年 00:00|イギリス| |||<就任>初代タンカーヴィル伯「ジョン・グレイ」(〜14210322死去)
1418年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジェームス・フィッツジェラルド」(〜1462年死去)
1418年 00:00|マン島| |||<就任>マン島知事「John Fazakerley」(〜1422年)
1418年 00:00|マリニジェール| |||<即位>ソガイ王国国王「ムハンマド・ファリ」(〜1426年)
1418年 00:00|イギリス| |||<退任>デズモンド伯「トマス・フィッツジェラルド」
1418年 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルがマデラ諸島に進出
1418年1月10日-01:00|ベルギー| |||<死去>ナミュール伯「ギヨーム2世」
1418年1月10日-01:00|ベルギー| |||<就任>ナミュール伯「ジャン3世」ギヨーム2世の弟(〜14290310死去ナミュール伯領はブルゴーニュ公家のもとなった)
1418年1月31日-02:00|ルマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「ミルチャ1世老公」
1418年2月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「トマス・タルボット卿」(〜6月)
1418年2月1日-02:00|ルマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ミカエル1世」(〜1420年4月没)
1418年2月6日-09:00|日本| |||応永25年|<死去>伊勢北半国・志摩国守護「世保康政」持頼が継ぐ(〜応永31(1424)年)
1418年2月6日-09:00|日本| |||応永25年|<任命>安芸国守護「山名教孝」(〜応永26(1419)年)
1418年2月6日-09:00|日本| |||応永25年|<任命>佐渡国守護「高師英」(〜不詳)

1430迄 (1296件)

1418年2月6日-09:00|日本| || 応永25年|<任命>常陸半国守護「山入与義」(~ 応永29年閏10月13日 (14221127) 死去)

1418年2月6日-09:00|日本| || 応永25年|<変更>常陸国守護「佐竹義人」⇒半国守護(⇒ 応永29年閏10月13日 (14221127) 常陸国守護)

1418年2月6日-09:00|日本|青森県平川市| 応永25年|南部守行、安藤教季(盛季の次男)が守る大光寺城を攻撃、安藤伊勢守が守る藤崎城を落城させる

1418年2月6日-08:00|中国| || 明・永楽16年|<死去>モグ・リスタン・ハン国ハ「ナクシ・ジャハーン」

1418年2月6日-08:00|中国| || 明・永楽16年|<即位>モグ・リスタン・ハン国ハ「ワイ」(~1421年死去)

1418年2月7日-08:00|中国/ベトナム| || 明・永楽16年1月2日|ベトナムで黎利が清化藍山で反明蜂起、自らを平定王(ビントインヴァン)と称した

1418年2月9日-09:00|日本| || 応永25年1月4日|<死去>関東管領・上野国守護・伊豆国守護「上杉憲基(山内)」

1418年2月11日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<死去>ボヘミアン・ホルシュタイン公「ボギスワフ8世偉大公」

1418年2月11日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ボヘミアン・ホルシュタイン公「ボギスワフ9世」(~14461207死去)

1418年3月1日-09:00|日本| || 応永25年1月24日|将軍足利義持が実弟の義嗣を反乱煽動者として処刑

1418年3月8日-07:00|ベトナム| || 大越・永天1年2月|<即位>大越「太祖」/永天と改元(~1428年)

1418年3月10日-01:00|ルクセンブルグ| ||<即位>ルクセンブルグ公「ヨハン2世the Pitiless」エリーザベト・フォン・ゲルリッツの2番目の夫(~14250106死去)

1418年3月20日-09:00|日本| || 応永25年2月13日|幕府、日野持光を殺し、ついで山科教高を殺害

1418年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「聖ルカ・ディ・ノ・デ・イ・パ・オ」

1418年4月8日-09:00|日本|京都府京都市上京区| 応永25年3月3日|相国寺門前8町焼亡

1418年4月16日-01:00|イタリア| ||<就任>モンフェラート侯「ジヨヴァンニ・ジヤコモ」テオドロー2世の子(~14450312死去)

1418年5月6日-09:00|日本|千葉県| 応永25年4月|<上総本一揆(上総国)>上総国の武士達による一揆発生/鎌倉公方足利持氏は重臣の一色左近大夫将監を派遣するとともに常陸国鹿島氏らの武士にも加勢を命じた

1418年5月28日 19:00|フランス| ||夜、パリの「サン・ジェルマン・デ・プレ門」(6区)が開かれ、入り込んだヴイリエ・ド・リラダンが、王太子シャルル(のちのシャルル7世)の同調者数百人を虐殺

1418年5月29日-09:00|日本|和歌山県田辺市| 応永25年4月24日|紀伊国熊野社僧ら、同国守護畠山満家と同国田辺で戦闘

1418年6月12日-01:00|フランス| ||「ブルゴーニュ派」が、「アルマニャック派」が支配するパリから王妃イザボート・バヴァリエールを誘い出し、逆にパリを攻め、「アルマニャック伯」バルナル7世をはじめ5千人を惨殺/以降「ブルゴーニュ派」がパリと王を支配するようになる

1418年7月2日-09:00|日本|千葉県市原市| 応永25年5月28日|<上総本一揆(上総国)>鎌倉公方軍は上総八幡(現在の千葉県市原市八幡)に集結して一揆側の本拠である平三城を攻め落として一揆軍を退散させた

1418年7月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「韓尚敬」(~10.2)

1418年7月11日-02:00|エストニア/ラトビア| ||<就任>リガ大司教「リガント公」ヨハネス6世アプンデ「イ」(~14240514没)

1418年7月28日-09:00|日本|京都府京都市東山区| 応永25年6月25日|大津の馬借数千人が米売買の非法を強訴し祇園社に乱入

1418年7月29日-01:00|フランス/イギリス| ||イングリッシュ軍が、ルーアンの攻囲を開始

1418年9月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| ||<即位>ボスニア王「ステイハーン2世オストリッチ」(~1420年7月)

1418年9月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽16年8月10日|<即位>李氏朝鮮国王「世宗」(~14500330死去)

1418年9月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽16年8月10日|<退位>李氏朝鮮国王「太宗(李芳遠)」

1418年9月10日-09:00|日本|福井県| 応永25年8月10日|<死去>越前・遠江・尾張国守護「斯波義重」義淳が継ぐ(~ 永享5年12月1日 (14340111) 死去)

1418年9月15日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Ibrahim1世」

1418年9月15日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Khalilullah1世」(~1465年死去)

1418年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・マリノ・デ・イ・フォスコ」アントニオ・デ・イ・テニヤ

1418年10月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「沈温」(~14190102)

1418年10月14日-09:00|日本|千葉県| 応永25年9月15日|<任命>上総国守護「宇都宮持綱」(~ 応永27 (1420) 年)

1418年10月17日 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>カリブ諸島王「Enrique de Guzman」(~1425年)

1418年10月29日-09:00|日本|京都府京都市| 応永25年10月|<任命>山城国守護「一色義貴」(~ 応永28 (1421) 年)

1418年11月17日-09:00|日本|愛知県安城市| 応永25年10月20日|三河国金沢村氏子、八幡社の社殿を再興

1418年11月25日 00:00|イギリス| ||<死去>サセット伯「ヘンリー・ボーフート」

1418年11月25日 00:00|イギリス| ||<就任>サセット伯「ジョン・ボーフート」(⇒14430828サセット公に昇爵~14440527死去消滅)

1418年12月19日-09:00|日本|石川県| 応永25年11月22日|<交替>加賀北半国守護「富樫満成」追放⇒加賀国守護「富樫満春」(~ 応永34年6月9日 (14270703) 死去)

1418年12月26日-01:00|フランス| ||フランスの王太子シャルルが、摂政に就任することを宣言

1418年12月29日-09:00|日本|京都府京都市| 応永25年12月2日|<就任>関白「九条満教」(~ 応永31年4月20日)

1419年-07:00|タイ| ||<即位>スコタイ王朝国王「マハ・タンマラーチャー4世」マハ・タンマラーチャー3世の息子(~1438年)

1419年-05:30|インド| ||ウイジャヤナガル王国がハフマニ朝フィロースを破る

1419年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Dervish Khan」(~同年)⇒「Qadeer Berdi Khan」(~同年)⇒「Hajji Muhammad Khan」(~同年)⇒「Ulugh Muhammad」(1期目~1423年)「Dawlat Berdi」(~1421年)

1430迄 (1296件)

1419年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「タ・ルグ・イーシュ」(~同年)⇒「オラフ・ムハンマト」(~1421年)
1419年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジ・ヨウ・アンニ・モロジ・ニ」(~1421年)
1419年-02:00|トルコ| |||オスマン朝のブルサで「緑のモスク」が完成
1419年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「ジ・ヨウ・アンニ・モロジ・ニ」(~1421年)
1419年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴェルテンベルク伯「ルトヴィヒ1世」(~1450年)、「ウルヒヒ5世最愛伯」(~1480年)
1419年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>カトリック伯「マリノ・パッチ」(~1420年)
1419年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「アルベール・デ・ウング」(~1426年)
1419年-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のパン「デ・イオニエ・マルカリ」(~1421年)
1419年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「フィリップ3世」(~1467年)
1419年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Thomas Langholme」(~同年)⇒「John of Lancaster」(~1435年)
1419年-01:00|スペイン| |||<即位>グナタ王国ナシル朝アミール「ムハンマト9世」(~1427年退位)
1419年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「ギ・ダント・ニオ1世」(~1443.2死去)
1419年-01:00|スペイン| |||<退位>グナタ王国ナシル朝アミール「ムハンマト8世」
1419年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「アルフィヌル・ソースタインソン」(~1420年)
1419年1月2日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳廷顕」(~14240929)
1419年1月19日-01:00|フランス/イギリス| |||ルアンが陥落し、イングランド軍がノルマンディを占領
1419年1月26日-09:00|日本| ||応永26年|<交替>遠江国守護「今川泰範」⇒「斯波義淳」尾張・越前国守護(~永享5年12月1日(14340111)死去)
1419年1月26日-09:00|日本| ||応永26年|<交替>九州探題「渋川満頼」辞任⇒「渋川義俊」(~正長元(1428)年辞任)
1419年1月26日-09:00|日本| ||応永26年|<交替>肥前国守護「渋川満頼」隠居⇒「渋川義俊」(~正長1(1428)年辞任)
1419年1月26日-09:00|日本|千葉県|応永26年1月|<上総本一揆(上総国)>再び上総国の武士達による蜂起/足利持氏は木戸範懷に命じて討伐をさせ、前回の討伐に参加した鹿島氏傘下の畑田幹胤らも再び参戦
1419年2月11日-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<死去>ミフハニド朝マリク「Qutb al-Din Muhammad ibn Shams al-Din Shah 'Ali」
1419年2月11日-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<即位>ミフハニド朝マリク「Shams al-Din 'Ali ibn Qutb al-Din」(~1438年死去)
1419年2月28日-09:00|日本|大阪府|応永26年2月4日|幕府、畠山満家に命じて富樫満成を河内国で殺害させる
1419年3月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「オットー」(~14300213死去)
1419年3月25日-01:00|フランス| |||パリで、前年の9月からこの日までの間に、腺ペストで10万人以上が死亡
1419年3月29日-09:00|日本|愛知県豊田市|応永26年3月3日|左衛門尉ら、三河国吉川郷六所宮の社殿を建立
1419年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「パ・オリ・ノ・デ・イ・ジ・ヨウ・アンニ・デ・イ・ビ・アンコ」「フォスキー・ノ・デ・イ・ベ・ネ・ット・マト・ローニ」
1419年4月22日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|応永26年3月27日|祢直衣源秋家、尾張国泥江県社の社殿を造る
1419年5月30日-09:00|日本|千葉県|応永26年5月6日|<上総本一揆(上総国)>埴谷重氏ら一揆軍は降伏/埴谷重氏は後に鎌倉由比ヶ浜で斬首
1419年5月31日-09:00|韓国/朝鮮/日本| ||朝鮮・永楽17年; 応永26年5月7日|対馬での飢饉によって数千人の倭寇が明の浙江省に向かっていった途中、食糧不足で朝鮮の庇仁県(今の韓国忠清南道舒川郡)を襲撃し、海岸の兵船を焼き払い、県の城をほぼ陥落させ、城外の民家を略奪
1419年6月5日-01:00|モロコシ| |||<就任>モロコシ領主「アンブ・ロ・ジ・ヨ」(~14270513)、「アント・ニオ」(~14270513)、「ジ・ヨウ・アンニ1世」(1回目~14281006)
1419年6月5日-09:00|韓国/朝鮮/日本| ||朝鮮・永楽17年; 応永26年5月12日|倭寇が朝鮮の海州へも侵犯し、殺害されたり捕虜となった朝鮮軍は300人に達した
1419年6月9日-01:00|ルクセンブルグ| |||<就任>ルクセンブルグ摂政「ジ・ヨン2世無慈悲公」エリザベットの夫/パ・イェル公ヨハン3世(~14250106没)
1419年6月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「ルトヴィヒ3世」
1419年6月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「アルブレヒト3世」(~14221112)
1419年6月16日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ヨハネス・ルク」(~1455年11月退任)
1419年6月23日-08:00|中国/日本| ||明・永楽17年6月|明軍が遼東の望海峯で倭寇を大破し、前期倭寇がほぼ終息
1419年7月 00:00|アイスランド/イギリス| |||<就任>アイスランド副王代行「ダ・ブリン大司教リチャード・タルボット」(~14200306)
1419年7月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴェルテンベルク伯「エーバーハルト4世」
1419年7月2日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴェルテンベルク伯「ルトヴィヒ1世」(⇒14420123ヴェルテンベルク=シュトゥットガルト伯~14500923死去)、「ウルヒヒ5世最愛伯」(⇒14420123ヴェルテンベルク=シュトゥットガルト伯~14800901死去)
1419年7月12日-09:00|日本/韓国/朝鮮|長崎県対馬市|朝鮮・永楽17年; 応永26年6月20日|<応永の外寇(対馬国)>屋頃、朝鮮軍は対馬の海岸(尾崎浦)に到着。対馬の盗賊たちは皆驚き逃げ出した。その中50人ほどが朝鮮軍の上陸に抵抗するが、敗れて陰阻な場所へ走り込む。上陸した朝鮮軍は島を搜索し、船129隻を奪い、家1939戸を燃やし、この前後に114人を斬首、21人を捕虜とした。また倭寇に捕らわれていた明国人男女131人を救出
1419年7月15日-09:00|日本|京都府京都市|応永26年6月23日|転法輪三条公光の青侍の下女と、関口家の若党となっていた京都本結屋(髪を結う紐を販売する商人)との些細な争いから、一条室町大路を舞台に、三条家被官集団と関口家被官集団とのあいだに合戦と発展/吉良俊氏が三条家に合力することで沈静化/後に関口満興は將軍足利義持に譴責される

1430迄 (1296件)

1419年7月21日-09:00|日本/韓国/朝鮮|長崎県対馬市|応永26年6月29日|長崎県<応永の外寇(対馬国)>朝鮮軍李従茂は部下を送り、島を再度搜索し、加えて68戸と15隻を燃やし、9人を斬り、朝鮮人8人と明国人男女15人を救出。朴実が率いる朝鮮左軍が、糠岳で対馬側の伏兵に会い敗北、百数十人が戦死及び崖に追い詰められて墜落死。朝鮮右軍が助けに入り、右軍の武官・李順蒙が対馬側の先鋒の指揮官らしき者を矢で射ち殺すと、対馬側は退いた

1419年7月23日-08:00|中国| ||明の永楽17年秋|鄭和第6次遠征出立、アフリカのザンジバルへ向かう

1419年7月25日-09:00|韓国/朝鮮/日本|長崎県対馬市|応永26年7月2日|<応永の外寇(対馬国)>朝鮮軍船は対馬から巨済島に撤退

1419年7月30日-01:00|チコ| ||ホヘミアで、フス派の暴動が起こり、市庁舎が襲撃される

1419年8月-08:00|中国| ||明・永楽17年|鄭和第5次遠征本隊帰還/ライオン・ヒョウ・ダチョウ・シマウ・サイなどの珍しい動物を連れ帰った(分遣隊は1421(永楽19)年帰還)

1419年8月14日-09:00|日本/中国| ||応永26年7月23日|幕府、明との国交を断絶

1419年8月16日-01:00|チコ/ルセンブルグ/トイッホーランド| ||<死去>ホヘミア王・ルセンブルク公・フランデンスル選帝侯・モラヴィア辺境伯「ヴァツラフ4世」/58歳(誕生13610226)

1419年8月16日-01:00|チコ| ||<就任>ホヘミア摂政「ソフィー・バリエル」(~14200417)

1419年8月16日-01:00|チコ/ルセンブルグ/トイッホーランド| ||<即位>ホヘミア王・ルセンブルク公・フランデンスル選帝侯「ジグムント」(~14371209死去)兼モラヴィア辺境伯(~1423年)ハンガリー王・ローマ王

1419年8月21日-09:00|日本| ||応永26年8月|<任命>関東管領「上杉憲実(山内)」(~永享11(1439)年10月29日)

1419年9月6日-09:00|日本| ||応永26年8月17日|「日本書紀第一聞書」(三原御調八幡宮蔵)成る

1419年9月10日-01:00|フランス/ベルギー| ||<死去>ブルゴーニュ公・アルトワ伯・フランドル伯・ブルゴーニュ伯「ジャン1世(無怖公無畏公)」、フランス王太子シャルル(後のシャルル7世)の配下に暗殺される

1419年9月10日-01:00|フランス/ベルギー| ||<即位>ブルゴーニュ公・アルトワ伯・フランドル伯・ブルゴーニュ伯「フィリップ3世善良公」ジャン1世の息子(~14670615死去)

1419年9月10日-01:00|フランス| ||<モンロー事件>王太子シャルル(アルマニャック派)、側近のヌヴィイ・デ・エシヤテルに命じ、「ブルゴーニュ公」ジャン無畏公をモンロー(セヌ川上流の町)の橋上におびき出し、斬殺/「アルマニャック派」と「ブルゴーニュ派」の内戦が激化

1419年9月17日-09:00|日本| ||応永26年8月28日|<交替>武蔵・上野・伊豆国守護「上杉氏憲」⇒「上杉憲実」(~永享11(1439)年10月29日)

1419年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・パオリ・ノヴァイトー」「ベネディクト・デ・トセッ」

1419年10月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽17年9月26日|李氏朝鮮の第2代国王定宗、死去/数え63歳(誕生:1357)1400年に弟に王位を譲った

1419年10月29日-09:00|日本|愛知県津島市|応永26年10月11日|玉泉坊金俊ら、尾張国穂保郷松嶋北嶋乾方の地藏菩薩坐像を造立

1419年11月6日-01:00|イタリア/トルコ| ||ベネチア、トルコの سلطان、メフメト一世と条約

1419年12月2日-01:00|フランス/イギリス| ||ブルゴーニュ公フィリップが、シャルル王太子に対抗して、ヘンリー5世と「アングロ・ブルギーニュ同盟(イングランド・ブルゴーニュ同盟)」が成立

1419年12月2日-01:00|イタリア| ||ベネチア、ホーローニャと条約

1419年12月5日 00:00|イギリス| ||<死去>デウオン伯「Edward de Courtenay」"The Blind"

1419年12月5日 00:00|イギリス| ||<就任>デウオン伯「Hugh de Courtenay」(~14220616死去)

1419年12月9日-01:00|フランス/イギリス| ||ノルマンディーのレザンドリにある「カイヤル城」がイングランドに降伏/ノルマンディーが全てイングランドの支配下となる

1420年-05:30|インド| ||<即位>カシュミール・スルターン朝スルターン「ザイヌル・ヒンデーン」(~1472年)

1420年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ヒルリ朝スルターン「Osman2世 Dhammaru Loaka」(~1421年)

1420年-04:00|ロシア| ||<即位>シビル・ハーン「ハジ・ムハンマド」トゥメンに建国(~1427年死去)

1420年-04:00|アゼルバイジャン/ウズベキスタン| ||ティムール朝のシャー・ルフがアゼルバイジャンを併合

1420年-03:00|イラク/トルコ/イラン/アゼルバイジャン| ||<即位>黒羊朝第4代国王「カラ・イスカンダール」(~1435年)

1420年-01:00|フランス| ||<死去>ダマルタン伯「Jean de Fayel」

1420年-01:00|モンテネグロ| ||<就任>カカ伯「マリノ・ビサンティ」(~同年、ホカ・コトルスカはヴェネチア共和国の一部)

1420年-01:00|フランス| ||<就任>ダマルタン伯「Marie de Fayel」(~不詳)

1420年-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ伯「Antonio Cardona」(~14210307)

1420年-01:00|アングラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ナガ」(~1435年)

1420年-01:00|イタリア/スペイン| ||アラゴン王アルフォンソ5世、サヴォイア公国を取得

1420年-01:00|クロアチア/イタリア| ||ヴェネチアによるダルマチアのスパウト統治(~1797年)

1420年-01:00|イタリア| ||ハルマ、ミラーノ公国に

1420年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「ヘルギ・シュティルソン」「トルステイン・オラフソン(1回目)」(~1423年)

1420年 00:00|モロッコ| ||<即位>マリーン朝スルターン「アブド・アル=ハック2世」(~1465年)

1420年 00:00|ポルトガル| ||ポルトガル船がマデイラ島に上陸

1420年 06:00|中米| ||アステカ族、テスコ族とトラコパン族とのあいだに三国同盟。その後、武力で周辺諸国を制圧し、メキシコ湾岸にまで達する巨大な帝国に成長

1420年1月16日-09:00|日本| ||応永27年|<交替>上総国守護「宇都宮持綱」⇒「上杉定頼」(~不詳)

1420年3月6日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副王「オモント伯ジョーエムズ・バトラ」(1回目~14220410)

1420年3月14日-08:00|中国| ||明・永楽18年2月|明の山東で唐賽児の白蓮教反乱

1420年4月-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワキア総督・領主「ミカエル1世」

1430迄 (1296件)

1420年4月-02:00|ルマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ラトウ2世フラスナクウァ」(1回目~1422年9月)
 1420年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・テニャ」(クリストファロ・デ・イ・パオロ・カルボニ)
 1420年4月13日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|応永27年3月|精進院日隆尼崎に本興寺を創す
 1420年4月17日-01:00|チェコ| |||<就任>ホヘミア摂政「ヴァルテンベルクとヴェゼリのチェコ」(~7. 28)
 1420年4月19日-01:00|イタリア| |||ペルノ市ヴェネツィアに降伏
 1420年5月9日-01:00|イタリア| |||フェルトレ市ヴェネツィアに降伏
 1420年5月13日-09:00|日本| |||応永27年4月|<応永の大飢饉>(~応永29年)日照り、琵琶湖の水が減り淀川の水が干上る、淀川干上がり多数の餓死者が出る
 1420年5月21日-01:00|フランス/イギリス| |||フランスのブルゴーニュ公フィリップ2世がイングランド王ヘンリー5世とトロア条約を締結/シャルル6世死後の王国統治権譲渡を約束
 1420年5月27日-09:00|日本|福島県いわき市|応永27年4月15日|磐城黒須野妙法寺板本尊造立
 1420年6月2日 00:00|イギリス/フランス| |||イングランド王ヘンリー5世、キャサリン・オブ・ヴァロア(フランス王女)と結婚
 1420年6月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ニルンベルク城伯・ブランデンブルク=クルムハツハ辺境伯「ヨハン3世」
 1420年6月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク=クルムハツハ辺境伯「フリートリヒ」(~14400920死去)ヨハンの弟
 1420年6月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ベルンブルク侯「Bernhard5世」
 1420年6月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト=ベルンブルク侯「Bernhard6世」(~14680202死去、アンハルト・デッサウ侯に統合)
 1420年7月-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ| |||<即位>ボスニア王「ステパン・トヴルトコ2世トヴルトコヴィッチ」(3回目~14431115)
 1420年7月14日-01:00|チェコ/ドイツ/スロバキア| |||ホヘミア軍が、神聖ローマ皇帝軍をプラハ近郊ウイコフで撃退
 1420年9月3日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王国摂政「アルバニ公ロバート」80歳⇒長男マートックが摂政となった
 1420年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・マリノ・デ・イ・フォスコ」(アントニオ・ジャンニニ)
 1420年10月5日-09:00|日本| |||応永27年8月28日|<死去>今川伊予守左京亮貞世(了俊)96歳/法名「海蔵寺殿徳翁了俊大居士」
 1420年11月-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド軍がムラン占領
 1420年11月1日-01:00|チェコ/ドイツ/スロバキア| |||ホヘミアのフス派が、再び神聖ローマ皇帝軍を破る
 1420年11月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・永楽18年10月|李氏朝鮮で朝鮮通宝鑄造
 1420年11月17日-03:00|イラク/トルコ/イラン/アゼルバイジャン| |||<死去>黒羊朝ベイ「カラ・ユースフ」
 1420年12月1日-01:00|フランス/イギリス| |||(~1436年まで16年)パリは、イギリス王ヘンリー5世と、ついで「ベッドフォード公」ジョン・オブ・ランカスター(1422年以降摂政)の軍隊に占領される/200人ほどの兵がバステュー、ルーヴル、ヴァンセンヌなどに駐留
 1421年-07:00|カンボジア| |||<即位>カメル王国国王「ホニャーヤット」(⇒1431年アンコール放棄、カンボジア王国国王~1463年)
 1421年-05:30|インド| |||<即位>サイイド朝スルタン「ムハムマド・シャー」ヒズル・ハーンの子(~1434年)
 1421年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>ジョチ・ウルス・ハン「Baraq Khan」(~1427年死去)
 1421年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ヒルリ朝スルタン「Danna Mohamed Raadha Bavana」(~同年)⇒「Yoosuf2世 Loka Aa nanadha」(~1443年)
 1421年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「シール・ムハンマド」シャイ・ジャハーンの子(~1425年)
 1421年-04:00|ロシア| |||<復位>モスコフスキー・ナメスニク「アレクサンドル・フォードロヴィチ」(~1424年)
 1421年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>シャライル朝第10代国王「ムハンマド」フリートの子(~1422年)
 1421年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アントニア・コルナロ」(~1422年)
 1421年-02:00|トルコ| |||<復位>カラマニ朝ベイ「Sultanzade 2世 Mehmed Bey」(~1423年死去)
 1421年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「ロレンツォ・フォスカリニ」(~1422年)
 1421年-01:00|フランス| |||<就任>エタンプ伯「Richard de Dreux」(~14380605死去)
 1421年-01:00|ドイツ| |||<就任>ホルシュタイン=レンズブルク伯ハインリヒ4世(~1427年)
 1421年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Armand de Cilli」(~1421年)
 1421年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「トマス・モンタギュー」(~14281103死去)
 1421年 00:00|モロッコ| |||タンジールがモロッコから分離されタンジール首長国設立
 1421年1月13日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<死去>ブルギー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ムアイヤド・シャイフ」
 1421年1月13日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルギー(フェルクス)・マムルーク朝スルタン「ムサッファル・アフマド」(~8. 29)
 1421年2月-08:00|中国| |||明・永楽19年|鄭和6回目の遠征に出発(朝貢にやってくる各国の使節を送るため)
 1421年2月-01:00|ドイツ| |||<死去>ホルシュタイン=レンズブルク伯「ハインリヒ3世」
 1421年2月-01:00|ドイツ| |||<就任>ホルシュタイン=レンズブルク伯「ハインリヒ4世」(~14270528死去)
 1421年2月2日-08:00|中国| |||明・永楽19年|<死去>モグーリスタン・ハン国ハン「ワイズ」
 1421年2月2日-08:00|中国| |||明・永楽19年|<即位>モグーリスタン・ハン国ハン「シール・ムハンマド」(~1425年死去)
 1421年2月2日-08:00|中国| |||明・永楽19年|中国で三国志演義が出版
 1421年2月2日-08:00|中国| |||明・永楽19年1月1日|明の永楽帝が、北京に遷都
 1421年2月3日-09:00|日本| |||応永28年|<交替>山城国守護「一色義貫」⇒「京極高数」(~応永31(1423)年)
 1421年2月3日-09:00|日本| |||応永28年|<死去>甲斐国守護「武田信元」
 1421年2月3日-09:00|日本|沖縄県|応永28年|<死去>琉球中山国王「尚思紹」
 1421年2月3日-09:00|日本|香川県丸亀市|応永28年|正覚院蔵懸仏、造られる
 1421年2月22日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、フィリッポ・マリ・ア・ヴァイスコンティと十年間の同盟
 1421年3月7日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ伯「Gonsalvo Monroy」(~14280620)

1430迄 (1296件)

1421年3月14日-01:00|イタリア| |||ベネチアがマンツァ君主ジャン・フランチェスコ・ゴンザールと条約
1421年3月22日-01:00|フランス/イギリス| |||イングランド王ヘンリー5世、フランス西部の「ボージエの戦い」で「アルマニャック派」の軍に敗れる
1421年3月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代タンカーヴィル伯「ジョン・グレイ」
1421年3月22日 00:00|イギリス| |||<死去>クレンス公・オマル伯「トマス・オブ・ランカスター」
1421年3月22日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代タンカーヴィル伯「ヘンリー・グレイ」(~14500113死去)
1421年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・シモーネ・ベルツツィ」
1421年4月21日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯「ジョン・フィッツアラン」
1421年4月28日-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<死去>ゼータ・リトラル卿「バルシャ・ジュージョヴィッチ」
1421年5月16日-09:00|日本|愛知県豊田市|応永28年4月15日|僧義睦、三河国長興寺に涅槃図を施入
1421年5月20日-05:30|インド| |||<死去>サイト朝スルタン「ヒズル・ハーン」
1421年5月20日-05:30|インド| |||<即位>サイト朝スルタン「ムバーラク・シャー」ヒズル・ハーンの子(~14340219死去)
1421年5月26日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第5代スルタン「メフメト1世」[1374年生~](享年47)
1421年5月26日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第6代スルタン「ムラト2世」メフメト1世の息子(~1444. 12~1451年死去)
1421年6月1日-09:00|日本|青森県東津軽郡蓬田村|応永28年5月|南部勢、南部義政(守行の嫡男)を総大将として、津軽半島南端にある小城の大館城(蓬田村北端)を攻撃し落城させる
1421年6月7日-01:00|チエコ| |||<就任>ボヘミア摂政・管理者「ロジューベルクのオルトリッヒ2世」(1回目)、「ヴァルテンベルクのウエリ」のチエコ(1回目)、「フランドルのオルトリッヒ4世」ウァグ「(9. 22)」、「リヒテンベルクのハインリッヒ・クルシ」(1回目)、「デュベ・ナ・ホフスカのジントリッヒ・ベルカツ」、「クネジエフのヨハネ」、「ラトコヴィツェのライター」、「リクター・ジョフ家のホジ・ネフシのパウリーク」、「ヤン・シャルバト」、「トロツノフとカリツのヤン・ジシュカ」、「フチョフモズビニェク・フチョヴィツ」、「コステル・ナト・サザウ・オウのミルコフのヤン・サードロ」、「バルチヨヴァのミラシュ」、「チュウヴィツとホフダンのミロト」、「ミコロヴィツェの者」、「ボハリンのジントリッヒ」、「ロジューミタルのフラン・レフ」、「ジヤツツのヴァネク」、「フランドル・ナラビのマテジ・ブラジャーク」、「コウジマのペトル・ホステック」(~9. 28)
1421年6月7日-09:00|日本|京都府京都市|応永28年5月|錦小路、油小路の16町焼亡
1421年6月30日-09:00|日本|茨城県那珂市|応永28年6月|この月、常陸国の額田義亮反乱し、足利持氏が二階堂行光らに命じ額田城を攻撃させる
1421年7月-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「チャンダリー・イブラヒム・パシャ」(~14290825死去)
1421年7月1日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団マスター「アントン・フビアン・デ・リパ」(~14371026没)
1421年7月2日-03:00|イラク/トルコ/イラン/アゼルバイジャン| |||<即位>黒羊朝ベイ「カラ・イサカンダル」(~1429年)
1421年7月22日-09:00|日本|愛知県名古屋市中熱田区|応永28年6月23日|尾張国萱津北宿住人内藤入道宣阿弥陀仏、熱田社海蔵門を造立
1421年8月29日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「サーヒル・タタル」(~11. 30)
1421年9月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ベッティーノ・デ・イ・パオロ」
1421年9月14日-09:00|日本| |||応永28年8月18日|<任命>室町幕府管領「畠山満家」(~永享1(1429)年8月16日)
1421年10月-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ティハトウ」(~1425年8月)
1421年10月2日-01:00|チエコ/ドイツ/スロバキア| |||フス派のボヘミア軍が、ドイツ諸領の連合軍の侵入を防ぐ
1421年10月10日-09:00|日本| |||応永28年9月14日|足利義持が広橋兼宣の所領を没収
1421年10月28日-01:00|イタリア| |||ミラノ公国が、ジェノヴァを併合
1421年11月19日-01:00|オランダ| |||オランダで防潮堤が決壊し大洪水、1万人が死亡(ヒール・ホッツェ湿地)
1421年11月30日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルジー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「サーヒル・ムハンマド」(~14220401死去)
1421年12月4日-09:00|日本| |||応永28年11月10日|<死去>越後国守護「上杉房方」⇒「上杉朝方」が継ぐ(~応永29年10月14日(14221029)死去)
1421年12月6日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「ヘンリー」ヘンリー5世の子(~14220831ヘンリー6世として即位)
1421年12月6日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永28年11月12日|円覚寺炎上
1421年12月29日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ベグー王「ラザ・デシリ」
1421年12月29日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ベグー王「ヒンニャー・タンマヤサー」(~1424年没)
1422年-05:30|インド| |||<即位>ウジジャナガル王国(サンガマ朝)国王「ブツカ3世」(~1424年)、「デーウ・ア・レーヤ2世」(~1446年)共同統治
1422年-05:30|インド| |||<即位>パーンデヤ朝君主「Gataiyavarman Parakrama Pandyan」(~1463年)
1422年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳汗国ハン「バラク」(~1427年)
1422年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ジャライル朝第11代国王「マフムド2世」(~1424年)
1422年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<死去>アダル・スルタン国スルタン「Sabir adDin2世」
1422年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アダル・スルタン国スルタン「Mansur adDin」(~1424年死去)
1422年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのカンデリア公「ロレンツォ・ブラガディーノ」(~1423年)
1422年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リウオニアのレヴァル司令官「アルベルト・トルク」(~1423年)
1422年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ミハイロ(ミハイル3世)」(~1432年)
1422年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのデュラツォ執達吏・長官「パオロ・ボントゥミエ」(~同年)⇒「アントニア・ドルフィン」(~1423年)
1422年-01:00|フランス| |||<就任>オーペルニュ伯「Marie1世」(~1437年)
1422年-01:00|フランス/イギリス| |||<就任>オマル伯「リチャード・ド・ビーチャム」(~14390430死去)
1422年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「アンリ5世」イングランド王ヘンリー6世(~1453年)

1430迄 (1296件)

1422年-01:00|イタリア| |||<即位>トント司教公「Ernst Auer」(~同年)⇒「Henry4世Flechtele」(~1423年)
1422年 00:00|イギリス| |||<死去>2代リバー「トマス・ダンバー」
1422年 00:00|イギリス| |||<就任>3代リバー「トマス・ダンバー」先代の息子(~没年不詳)⇒4代リバー「ジェームズ・ダンバー」先代の弟(~1429年死去)
1422年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ケラスコ」司教ウィリアム・ロウター(~1425年)
1422年 00:00|マン島| |||<就任>マン島副知事「John Walton」(~1428年)
1422年1月6日-09:00|日本| |||応永28年12月13日|去夜、星地に落ちる。また夜光物あり、北より南へ飛ぶ
1422年1月12日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|応永28年12月19日|僧寂賢、尾張国春日社の社殿を建立
1422年1月23日-09:00|日本| |||応永29年|瑠璃光寺が建立される
1422年1月23日-09:00|日本|沖縄県|応永29年|<即位>琉球中山国王「尚巴志」(⇒1429年国土統一、琉球国王~14390601(正統4年4月20日)死去)
1422年1月23日-09:00|日本|京都府向日市|応永29年|向日神社本殿できる
1422年1月23日-08:00|中国/モンゴル| |||明の永楽帝がふたたびタールを親征
1422年4月1日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<死去>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「サーリフ・ムハンマド」
1422年4月1日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||<即位>ブルギー(チェルクス)・マムルーク朝スルタン「アシュラフ・バルスバール」(~14380607死去)専売政策と関税の強化で財政再建を図る
1422年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストファロ・ディ・パオロ・カルボニ」「アントニオ・ジャンニニ」
1422年4月10日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「キルメイナム修院長ウィリアム・フィットマス」(~10. 4)
1422年4月11日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|応永29年3月20日|願主藤原貞茂、山住神社(水窪町山住)宝殿造立
1422年4月17日-09:00|日本|長野県松本市|応永29年3月26日|波多腰清勝、筑摩郡牛伏寺の奪衣婆像を造立
1422年5月16日-01:00|チェコ| |||<就任>ホーヘミヤ摂政「ジグムント・コリブトビッチ」(1回目~14231101)
1422年5月21日-09:00|日本/韓国| |||応永29年5月|義持書を朝鮮に遣わして大蔵経を求む
1422年5月30日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・永楽20年5月10日|<死去>李氏朝鮮元第3代国王太宗/数え56歳(誕生:1367)
1422年6月10日-02:00|トルコ| |||オスマン帝国軍がコンスタンティノブルを攻城(~1422. 9)
1422年6月16日 00:00|イギリス| |||<死去>デューゴン伯「Hugh de Courtenay」
1422年6月16日 00:00|イギリス| |||<就任>デューゴン伯「Thomas de Courtenay」(~14580203死去)
1422年6月19日-09:00|日本|茨城県筑西市|応永29年6月|<小栗満重の乱(北関東)>常陸真壁郡小栗御厨を支配していた領主小栗満重が宇都宮持綱・桃井宣義・真壁秀幹らと共に謀して反乱を起こし、一時は下総結城城を奪うなどした
1422年6月30日-01:00|イタリア/スイス| |||ミラノ公の傭兵隊長のカルマニョーラが、アルベルトでスイス軍を破る
1422年8月2日-09:00|日本| |||応永29年7月15日|<死去>小倉宮恒敦(不明)後亀山天皇の皇子
1422年8月4日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永29年7月17日|鎌倉府武蔵国六浦に関所を設置
1422年8月13日-09:00|日本| |||応永29年7月26日|幕府松田満秀をして建武式目の聴訟則例10条を増補
1422年8月17日-08:00|中国| |||明・永楽20年8月|鄭和第6次遠征本隊帰還/分遣隊は1423(永楽21)年帰還
1422年8月31日-01:00|フランス/イギリス| |||<死去>イングランド王「ヘンリー5世」35歳/「ウアンセンヌの森」(パリの東)の「ウアンセンヌ城」で
1422年8月31日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド 王国国王「ヘンリー6世」ヘンリー5世とキャサリン・オブ・ヴァロワの男子(~14610304退位~14710521殺害される49歳)
1422年9月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ダン2世」(~1431年3月没)
1422年9月17日-02:00|ブルガリア| |||<死去>第二次ブルガリア帝国皇帝「コンスタンティン(2世)・アセン・シシュマン・スラツィミル」
1422年9月27日-02:00|リトアニア/ドイツ| |||サギティアはリトアニアに永久に譲渡される(1423年5月18日批准)
1422年9月27日-01:00|ドイツ/リトアニア/ポーランド| |||ドイツ騎士団が、ポーランド・リトアニアと和平を結ぶ
1422年10月1日-05:30|インド| |||<死去>パフマニ朝第8代スルタン「タージュッディーン・フィールズ・シャー/フィールズ・シャー・パフマニ」
1422年10月1日-05:30|インド| |||<即位>パフマニ朝第9代スルタン「シャーブッディーン・アフマド・シャー1世」(~14360417)
1422年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ディ・バルトチーノ」「アントニオ・ディ・ベネット・トセッティ」
1422年10月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「ダブリン大司教リチャード・タルボット」(1回目~1423年7月)
1422年10月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「ヨハン4世」
1422年10月16日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェリーン公「ハインリヒ4世肥満公」ヨハン4世の息子(~14770309死去)統治者家系の絶えたヴェルとシュタルガルトを回収し、メクレンブルクを統合
1422年10月21日-01:00|フランス| |||<死去>フランス国王「シャルル6世」/53歳(誕生13681203)
1422年10月29日-09:00|日本|新潟県|応永29年10月14日|<死去>越後国守護「上杉朝方」⇒「上杉頼方」(~応永33(1426)年解任)
1422年10月30日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王「シャルル7世勝利王」シャルル6世の子(~14610722)、「イングランド王ヘンリー6世」シャルル6世の孫(~14531019)「トロワ条約」に基づきフランス北部の大部分継承
1422年11月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「アルブレヒト3世」
1422年11月27日-09:00|日本|茨城県|応永29年閏10月13日|<死去>常陸半国守護「山入与義」叛乱し足利持氏の軍勢によって鎌倉の比企谷屋敷を攻められ自害
1422年11月27日-09:00|日本|茨城県|応永29年閏10月13日|<変更>常陸半国守護「佐竹義人」⇒常陸国守護(~応永32(1425)年)

1430迄 (1296件)

1422年11月27日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永29年閏10月13日|鎌倉比企谷妙本寺焼失
1422年12月5日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 国守護者「ベドフォード公ジョン」、「ケルスター公ハフリー」(~14291106)
1422年12月24日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア王代行「ヴァルデシュテインのハシェク・オストロシスキー」「ボストウピツクのヴィレム・コトカ」(~14231101)
1422年12月28日-09:00|日本|愛知県一宮市|応永29年11月15日|子竜聖雲、尾張国妙興寺の仏殿を建立
1423年-05:30|インド| |||<死去>マソール王国(オデヤ朝) 国王「ヤドゥ・ラーヤ」
1423年-05:30|インド| |||<即位>マソール王国(オデヤ朝) 国王「チャマ・ラージャ1世」(~1459年死去)
1423年-05:30|インド| |||アムダハートのジャミー・マスジッドが完成
1423年-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アリー・ブン・イブン」(~14251017)
1423年-02:00|トルコ| |||<死去>カラマニ朝ベイ「Sultanzade 2世 Mehmed Bey」
1423年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公(副公爵)「ロレンツォ・カッポ」(~1424年)
1423年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「シッセ・フォン・デム・ルーテンベルク」(~1424年)
1423年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝ベイ「Damad Bengi Ali Bey」(~1424年退位)
1423年-02:00|ギリシャ/イタリア/トルコ| |||ヴェネツィア共和国テッサロニキを獲得
1423年-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「アルブレヒト5世」
1423年-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「カトリナ」フアン2世の長女(~1424年~14240917死去)
1423年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデラツツォ執達吏・長官「ゲラルド・サクレ」(~1424年)
1423年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「ディートリヒ」(~14400214死去)
1423年-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のバン「ヘルマン2世・チェリスキ」(2度目~1435年)
1423年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ザイヤン朝スルタン「アブー・アフドゥッラー2世」(~1427年)
1423年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ハンス・パルソン」「バルタザール・ヴァン・ダム」(~1425年)
1423年1月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「フリードリヒ1世好戦公」マイセン辺境伯(~14280104死去)
1423年1月18日-01:00|ポーランド| |||<死去>グウォグフ公「ヘンリー10世Rumpold」
1423年2月6日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区熱田区|応永29年12月25日|熱田大福田社の遷宮が行われる
1423年2月11日-09:00|日本| |||応永30年<交替>奥州探題「大崎満詮」⇒「大崎持兼」(~永享7(1435)年)
1423年2月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・永楽21年|この年朝鮮で「高麗史」が編纂される
1423年2月11日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永30年|鎌倉建長寺の猿蓑図2幅ができる
1423年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・カルデイーニ」「シモネ・ディ・メンギーノ・カルチーニ」
1423年4月4日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ第64代「モチエーゴ」
1423年4月7日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィアでアレコ(人民集会)廃止され、すべて大議院に取って代わる
1423年4月13日-09:00|日本| |||応永30年3月3日<死去>惟成親王(不明)後村上天皇の皇子
1423年4月15日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ第65代「フランチェスコ・フォスカリ」(~1457年)
1423年4月17日-01:00|フランス| |||<アミアン条約>英国王ヘンリー6世の叔父で執政のベドフォード公とブルゴーニュ公とがアミアン条約を締結
1423年4月27日-01:00|チェコ/スロバキア| |||ボヘミアのジュシカが、タール派を率いて穏和派を破る
1423年4月28日-09:00|日本| |||応永30年3月18日<任命>室町幕府5代将軍「足利義量」(~応永32(1425)年2月27日)
1423年6月9日-09:00|日本|福岡県福岡市|応永30年5月|少貳満貞は肥前小城の千葉胤鎮と軍を合わせ破るた/探題義俊は敗れ博多から追われる
1423年6月10日-01:00|バチカン| |||<就任>アグニオン対立教皇「クレメン8世(ジル・サンチェス・ムス)」(~14290726退任)
1423年6月25日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<死去>ゲルテルン公「ライナルト4世(レイナルト4世)」兼ユリ公「ライナルト6世」
1423年6月25日-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルテルン公「アルナルト」(~1465年)
1423年6月25日-01:00|ドイツ| |||<即位>ユリ公「アドルフ」(~14370714死去)
1423年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「マーチ・アルスター伯エドマント・モーター」(~14250119没)
1423年7月12日-09:00|日本|山梨県|応永30年6月5日<任命>甲斐国守護「武田信重」(~宝徳2年11月24日(14501228)死去)
1423年7月31日-01:00|フランス| |||<クワグアの戦い>フランス王シャルル7世の軍(アルマニャック派)、フランス中部のクワグアンで「アングロ・フランクニオン同盟」の勢力に敗れる
1423年8月2日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「スライマン・シャー1世」
1423年8月2日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「アタウッラー・ムハンマド・シャー1世」(~14730122死去)
1423年8月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「ミース司教エドワード・ダンシー」(~1424年5月)
1423年8月12日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア、スクアリ占領
1423年9月-02:00|ギリシャ/イタリア| |||ヴェネツィアがテッサロニキを占領(~14300529)
1423年9月6日-09:00|日本|茨城県筑西市|応永30年8月2日<小栗満重の乱(北関東)>反乱の長期化・強大化を懸念した鎌倉公方足利持氏が、大軍を率いて自ら出陣すると、反乱軍はたちまち崩壊して小栗満重も居城の小栗城で自刃して果てた
1423年9月15日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永30年8月11日|足利義持、今川範政に鎌倉公方足利持氏を討たせる
1423年9月26日-01:00|フランス| |||<クワグアールの戦い>フランス王シャルル7世の軍(アルマニャック派)、フランス北西部(マイヌ県)のクワグアールで「アングロ・フランクニオン同盟」の勢力に勝利
1423年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・マリノ・ディ・フォスコ」「ジョヴァンニ・ディ・パオリ・ノ・ウ

1430迄 (1296件)

イト-ラ]

1423年10月3日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア辺境伯「アルブレヒト2世」ジグムントの婿(オーストリア公「アルブレヒト4世」~14391027死去)

1423年11月1日-01:00|チェコ| |||<就任>チェコ全土の管理者・首領「ミカヒェツェのヤン・シニア」、「ヴァルテンベルクとヴェリチナのチェコ」(2回目)、「ロジツェのオールドリツ2世」(2回目)、「コロウラツ・リプシュテインスキのベトリチ」、「リベのハインリッヒ・フランク・アール」、「ティンツェのシュテルンベルクのアレクサンダー・ホリツキ」、「ヴァルデンシュテインのハインリッヒ・オストロフスキ」、「ヴァレンシュテインのハインリッヒ・コルステインスキ」、「リヒテンベルクのハインリッヒ・クルナ」(2回目)、「ラントシュテインとボロティンのヘルマン」、「ミレチネクのデヴィッド・イシュ・ホルツェク」、「ヤン・スミツキ・ゼ・スミツチ」(~14240701)

1423年11月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽21年10月13日|李氏朝鮮が仏教寺院の創設を禁止

1423年11月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Albert4世」

1423年11月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Adolph1世」(~14730828死去)、「Waldemar5世」(~1436年死去)共同統治

1424年-08:00|マレーシア| |||<死去>マラッカ王国スルタン「ムガト・イスクンダール・シャー」

1424年-08:00|マレーシア| |||<即位>マラッカ王国スルタン「モハムド・シャー」(~1444年死去)

1424年-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第7代国王「(インタラーチャー1世)ナリンタラーティラート」

1424年-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第8代国王「ホー・ロマラーチャーティラート2世サム・ラー・王」(~1448年死去)

1424年-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペー・グー・王「ヒンニャー・タンマヤザー」

1424年-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペー・グー・王「ヒンニャー・ラン1世」(~1446年9月没)

1424年-05:30|インド| |||<即位>東ガーンガ朝国王「ハース・デーヴァ4世」(~1434年)

1424年-05:30|インド| |||<即位>ウイジャナガラ帝国国王「デーヴァ・ラヤ2世」(~1446年)

1424年-05:30|インド| |||ハフマニ朝アフマド・ガウル・ハルカからビダルに遷都

1424年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキ・ナメストニク「フィodor・パトリケウイチ」(~1425年)

1424年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ジャイル朝第12代国王「フサイン2世」アフマドの孫(~1432年)

1424年-03:30|イラン| |||<即位>ハザーラス朝君主「Ghiyath al-Din」(~同年)

1424年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<死去>アダル・スルタン国スルタン「Mansur adDin」

1424年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アダル・スルタン国スルタン「JamaladDin2世」(~1433年死去)

1424年-03:00|イェメン| |||<即位>ラール朝スルタン「マンスール・アフダラー」(~1427年)

1424年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「フランチェスコ・ロレーノ」(~1427年)

1424年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リグ・オニアのレヴァル司令官「ゴスウィン・フォン・ヴェルメーデ」(~1429年)

1424年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝ベイ「Damad 2世 Ibrahim Bey」(~1464年死去)

1424年-02:00|トルコ| |||<退位>カラマニ朝ベイ「Damad Bengi Ali Bey」

1424年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||アトスはオスマン帝国の一部(~19121115)

1424年-02:00|トルコ| |||オスマン朝とビザンティン帝国が和平を締結

1424年-01:00|ポーランド| |||<死去>ラチフ・シュ公「ジヨン2世」

1424年-01:00|スペイン| |||<就任>アストリアス公(スペイン国王の推定相続人)「レノール」カタリナの妹(~14250822死去)

1424年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのテュラツツォ執達吏・長官「ジョヴァンニ・ヴェニ」(~1425年)

1424年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「エリック・セゲホフセン・クルンメーイェ」(~1439年没)

1424年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領サント・ゲルメ・ダ・シルバ提督「Rui Gomes da Silva」(~1425年)

1424年-01:00|ポーランド| |||<就任>ラチフ・シュ公「ニコラス5世」(~1437年)、「ヴェンツェスラウス」(~14561029死去)

1424年-01:00|バチカン| |||<即位>アグニオン対立教皇「ベネディクトゥス14世(ヘルバルト・ガリエル)」(~1430年)

1424年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Alexander of Masovia」(~1444年)

1424年2月1日-09:00|日本|京都府|応永31年|<任命>山城国守護「京極持光」(~正長元(1428)年)

1424年2月1日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|応永31年|義俊の拠る山浦勝尾城は少貳の一門筑紫広門によって攻め落され探題義俊は筑後に遁走

1424年2月1日-09:00|日本|静岡県富士宮市|応永31年|大石寺(上条)9世日有、諸堂を再建

1424年2月1日-09:00|日本|三重県|応永31年|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「世保持頼」⇒「畠山満家」(~正長元(1428)年)

1424年2月1日-09:00|日本|宮崎県|応永31年|島津久豊、油津に進出/三俣・真幸の軍勢、須木・肥田木の軍勢と戦い、柚木崎・紙屋を得る

1424年2月1日-09:00|日本|山形県|応永31年|<交替>羽州探題「最上満家」⇒「最上頼宗」(~永享13年2月5日(14410226)死去)

1424年3月3日-09:00|日本| ||応永31年2月3日|<死去>寂済(77歳)画家

1424年3月5日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|応永31年2月5日|鎌倉公方足利持氏が前將軍義持と和睦

1424年3月28日 00:00|イギリス| |||スコットランド王ジェームズ1世がイングランドでの捕囚を解かれ、両国間の7年間の和平協定を結ぶ

1424年3月31日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<死去>リグ・オニア騎士団団長「ジークフリート・ランダー・フォン・スポンハイム」

1424年3月31日-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リグ・オニア騎士団団長代行「ティートリヒ・クラ」(~5月)

1424年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・テニャ」「アントニオ・ディ・シモーネ・ベルツツィ」

1424年5月-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リグ・オニア騎士団団長「シッセ・フォン・デム・ルンテンベルク」(~1433年10月没)

1424年5月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「オモンド 伯ジェームズ・バトラー」(~9月)

1424年5月 00:00|イギリス| |||ジェームズ1世はスコットランドに帰国し、戴冠を済ませた/摂政を勤めたアルバーニ公マートックは二人の子ともに処刑

1430迄 (1296件)

1424年5月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・永楽22年4月5日|李氏朝鮮が仏教寺院を36に統廃合する
1424年5月10日-09:00|日本| ||応永31年4月12日|<死去>後龜山法王(99代天皇)75歳(誕生:正平5(南):観応1(北)
(1350))南朝4代
1424年5月14日-02:00|エストニア/ラトビア| ||<死去>リガ大司教・リガラント公「ヨハネス6世アンブナティ」
1424年5月18日-09:00|日本| ||応永31年4月20日|<就任>関白「二条持基」(~正長元年7月20日)
1424年6月10日-01:00|オーストリア/スロベニア| ||<死去>ケルテン公・カニオラ公・内オーストリア公・シュターアマルク公「エルンスト鉄公」47歳
1424年6月10日-01:00|オーストリア/スロベニア| ||<即位>ケルテン公・カニオラ公・シュターアマルク公「フリードリヒ5世」(~14930819死去)
、シュターアマルク公・カニオラ公「アルブレヒト6世」(~14631202死去)
1424年6月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|応永31年6月|興福寺僧徒、東大寺僧徒と争う
1424年6月27日-09:00|日本| ||応永31年6月1日|世阿弥の能楽書「花鏡」できる
1424年7月1日-01:00|チェコ| ||<就任>ホーヘンツォルンベルク公「ジギスムント・コジマ」(2回目~14270417)
1424年7月16日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド連邦大法官「ウィンチェスター司教ヘンリー・ボート」(3期目~14260316)
1424年8月12日-08:00|中国| ||明・永楽22年7月18日|<死去>明第3代皇帝「成祖(太宗)永楽帝(朱棣)」北征中に/6
5歳(誕生1360年)
1424年8月17日-01:00|フランス| ||<死去>オマル伯「John6世」
1424年8月17日-01:00|フランス| ||<就任>オマル伯「Mary」(~14760419死去)
1424年8月17日-01:00|フランス/イギリス| ||<グェルヌイの戦い>ヘドフォード公率いる1万の英国軍とスコットランドと北イタリア(ロ
ンバルド)の傭兵隊を主力とする1万4千の仏軍がグェルヌイで戦い、スコットランド人部隊は多くの戦死者を出した
1424年8月17日 00:00|イギリス| ||<死去>ダグラス伯「Archibald Douglas」戦死
1424年8月17日 00:00|イギリス| ||<死去>パカン伯「ジョン・ステュアート」グェルヌイの戦いで戦死
1424年8月17日 00:00|イギリス| ||<就任>ダグラス伯「Archibald Douglas」(~14390626死去)
1424年8月17日 00:00|イギリス| ||<就任>パカン伯「ジェームズ1世」(~14370221死去)
1424年9月2日-09:00|日本|京都府京都市北区|応永31年8月10日|四条道場金蓮寺焼失
1424年9月7日-09:00|日本|長野県|応永31年8月15日|伊良親王、信州駒場大野で野武士飯田太郎・駒場小二郎・伊
奈四郎右衛門ら2百余人に襲われ、世良田大炊助義秋・羽河安芸守景庸・熊谷弥三郎直近・下野入道・羽川兄弟・一
宮酒井六郎・一宮酒井七郎・熊谷・大庭・本多・大井田・一ノ井・知久入道禅久頼昭(39歳)等従士25人討死/永江伊予
守満綱・永江六郎尚綱・青木師重、伊良親王(61歳)と共に自害/児玉庄左衛門は逃れ作手に隠れ、奥平氏の祖とな
る
1424年9月7日-08:00|中国| ||明・永楽22年8月15日|<即位>明第4代皇帝「仁宗洪熙帝(朱高熾)」(~洪熙元年5月12
日1425年5月29日)永楽帝の子
1424年9月24日-01:00|フランス| ||<シャンペリーの協定>フランス王シャルル7世と「ブルゴーニュ公」フィリップ(善良公)との間で4年の
「休戦協定」/ブルゴーニュ側はフランスにおける軍事行動の停止、パリ対ブルジョアの抗争に対しての中立、王太子(協定書
では「王」とされている!)はブルゴーニュの所領不可侵などを取り決めた
1424年9月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李稷」(~14260618)
1424年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「聖ルカデ・イニ」「バルタザレ・デ・イ・ジョヴァンニ」
1424年10月13日-02:00|エストニア/ラトビア| ||<就任>リガ大司教・リガラント公「ヘンク・シャルペンベルク」(~14480405没)
1424年11月1日-01:00|イタリア| ||<ゴリツィア伯、ベネチア共和国に封土を受ける
1424年11月2日-08:00|中国/ベトナム| ||明・永楽22年10月12日|黎利軍は多矜(タイホ省トアソン)の明軍駐屯地を急襲
し、一撃のもとに勝利をおさめ次いで、藍川上流の茶麟城を降伏させた/また可留(ケアン省アイン県)に進撃し、計
略を仕掛けて可留・蒲隘で陳智軍を撃破/演州、清化地域の全てが1ヶ月も経たないうちに解放された
1424年11月14日-09:00|日本|鳥取県|応永31年10月23日以降|<死去>伯耆国守護「山名氏之」
1425年-08:00|ブルネイ| ||<死去>ブルネイ・スルタン「アマト」
1425年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「オイダ・イ・ハーン」
1425年-08:00|ブルネイ| ||<即位>ブルネイ・スルタン「シャリフ・アリ」(~1432年死去)
1425年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「アダ・イ・ハーン」(~1438年没)
1425年-07:00|タイ| ||<死去>カオ王国国王「パン」
1425年-07:00|タイ| ||<即位>カオ王国国王「ケンターオ(インタケン)」(~1432年)
1425年-05:30|インド| ||<建国>カンタル国
1425年-05:30|インド| ||ハフマニ朝アマトがワラナガルをおとし、王国に併合
1425年-05:00|ウズベキスタン| ||<復位>モグリスタン・ハン国ハン・ワイス(~1432年)
1425年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ヴァシリ・ヴァシリエヴィチ」(~1462年)
1425年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネチアのデュラツォ執達吏・長官「ザッカリア・ナダル」(~同年)⇒「ジュリアノ・ロレー
ノ」(~1426年)
1425年-01:00|フランス| ||<就任>ギーズ伯「ヨハン1世」(~14410105)
1425年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro de Meneses」(2期目~1430年)
1425年-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ホーエンメルン・オルガスト・バス公「バルム8世若公」(~14511215から19日死去)、
「シユ・エントホルム4世平静公」(~1432年死去)
1425年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「バルザール・ヴァンダム」(~1427年)
1425年 00:00|イギリス| ||<就任>ラント伯「リチャード・フランジネット」先代の甥(~14601230死去)
1425年 00:00|イギリス| ||<昇格>ノーフォーク伯「ジョン・モウラー」⇒ノーフォーク公(~14321019死去)
1425年 07:00|メキシコ| ||アステカ人がテバコ人を破り3市同盟を締結し帝国建設に着手
1425年1月6日-01:00|ドイツ/ルクセンブルグ/オーストリア/オランダ| ||<死去>下バイエルン・シュトラウベング公「ヨハン3世」兼ルクセンブルグ

1430迄 (1296件)

政「ジョン2世無慈悲公」

- 1425年1月19日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副王「マーチ・アルスター伯エドマント・モートマー」
1425年1月19日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「タルボット卿ジョン・タルボット」(2回目~6月)
1425年1月20日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|応永32年|<再建>岡山吉備津神社本殿・拝殿
1425年1月20日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永32年|大檀那井伊修理亮直秀・子井伊五郎直幸・井伊於寿丸、遠江竜潭寺(引佐町井伊谷)鎮守三島社を造立
1425年1月20日-08:00|中国| |||明・洪熙1年|<死去>モグ・リスタン・ハン国ハ「シール・ムハンマド」
1425年1月20日-08:00|中国| |||明・洪熙1年|<復位>モグ・リスタン・ハン国ハ「ワイ」(~1429年死去)
1425年1月20日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|応永32年1月|島津久豊、海江田城を包囲/伊東祐安、曾井・清武城から二千の兵で熊野川を下り島津軍を攻撃するも敗北し、海江田城を明け渡す
1425年1月20日-08:00|中国| |||明・洪熙1年1月1日|明・洪熙と改元
1425年1月28日 00:00|イギリス| |||<死去>マーチ伯・アルスター伯「エドマント・モートマー」
1425年1月28日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ヨーク公・マーチ伯・アルスター伯・ラトランド 伯「リチャード・フ・ランタジネット」ケンブリッジ 伯(~14601230死去)
1425年2月9日-09:00|日本|鹿児島県|応永32年1月21日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津久豊」忠国が継ぐ(~文明2年1月20日(14700221)死去)
1425年2月27日-04:00|ロシア| |||<死去>モスクワ大公「ヴァシリ1世トミリエウイチ」
1425年2月27日-04:00|ロシア| |||<就任>モスクワ大公摂政「ヴェリカヤ・クニヤギニャ・ソフィヤ」(~1432年)
1425年2月27日-04:00|ロシア| |||<即位>モスクワ大公「ヴァシリ2世ヴァシリエウイチ」(1回目~14330425)
1425年3月4日-01:00|イタリア| |||ベネチアでソリア・デ・アントーレ・フ・リウ兄弟銀行倒産
1425年3月6日-09:00|日本| |||応永32年2月16日|<死去>小川宮(22歳)後小松天皇の皇子
1425年3月17日-09:00|日本| |||応永32年2月27日|<死去>足利義量/19歳(誕生:応永14(1407)0724)第5代將軍
1425年3月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>マイン辺境伯「ヴィルヘルム2世」
1425年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ヨハネ・デ・パウルス」「アントニオ・デ・イリコ」
1425年5月3日-09:00|日本|愛知県名古屋市中村区|応永32年4月15日|藤原則安、尾張国七所社の社殿を建立
1425年5月14日-09:00|日本|静岡県湖西市|応永32年4月26日|<死去>日乗(81歳)常霊山本興寺(鷺津)開祖
1425年5月24日 00:00|イギリス| |||スコットランド 王ジェームズ1世が、不在の間摂政を務めていたアルバニ公マートックの一族の王権専横を罪とし処刑
1425年5月29日-08:00|中国| |||明・洪熙1年5月12日|<死去>明第4代皇帝「仁宗洪熙帝(朱高熾)」
1425年6月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「オーモント 伯ジェームズ・バトラ」(2回目~1427年5月)
1425年6月27日-08:00|中国| |||明・洪熙1年6月12日|<即位>明第5代皇帝「宣宗宣德帝(朱瞻基)」(~宣德10年1月3日1435年1月31日)洪熙帝の
1425年7月16日-09:00|日本|茨城県|応永32年閏6月|<任命>常陸半国守護「佐竹義憲」(~永享10(1438)年)、「山入祐義」(~永享7(1435)年)
1425年7月19日-01:00|オランダ/フランス| |||オランダをブルゴニユが支配
1425年7月21日-02:00|トルコ| |||<死去>ニカイア帝国皇帝「マヌエル2世パレオロゴス」
1425年7月21日-02:00|トルコ| |||<即位>ニカイア帝国皇帝「ヨハネス8世パレオロゴス」マヌエル2世とイェレ・ド・ラガシュの長男(~14481031死去)
1425年8月-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ミン・フ」(~11月)
1425年8月22日-01:00|スペイン| |||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「レオナル」
1425年8月22日-01:00|スペイン| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「エンリケ」レオナルの弟、後のカスティリヤ王エニリケ4世(~1454年~14741211死去)
1425年8月26日-09:00|日本|福岡県福岡市|応永32年7月13日|少貳満貞と菊池兼朝が九州探題の渋川義俊を攻め博多から追い出す
1425年9月8日-01:00|スペイン/フランス| |||<死去>ナバラ王「カルロス3世」兼スール公「シャルル3世」64歳
1425年9月8日-01:00|フランス| |||<就任>スール公「エオノール・ド・ブルボン」シャルル3世の外孫、ラ・マルシュ伯ジャック2世の娘(~1463、4死去)
1425年9月8日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「フアンカ1世」カルロス3世とエオノールの娘(~14410403死去56歳)、「フアン2世」アラゴン王フェルナント1世とレオナルの息子(~14790120死去81歳)共同統治
1425年9月12日-08:00|中国/ベトナム| |||明・洪熙1年8月|黎利は陳元扞・黎銀たちに、乂安から新平(クアンビン省・クアン省北部)へ進撃するように命令/義軍は迅速に明軍を撃破し、新平・順化を解放
1425年9月23日-09:00|日本|長野県上田市|応永32年8月12日|藤原経吉、水内郡白山権現の本殿を造立
1425年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|応永32年8月14日|京都大火、相国寺・鹿苑寺など焼亡
1425年9月27日-09:00|日本|山梨県|応永32年8月16日|足利持氏が上杉房実に命じて武田信長を甲斐国に討たせる
1425年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・マリノ・デ・イ・フォスコ」「ロレンツォ・デ・ピエロ」
1425年10月17日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ハサン・ブン・アジユン」(~14260425)、「バラカット・イブン・ハサン」(~1455年)
1425年10月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント 伯「ラルフ・ネイル」
1425年10月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント 伯「ラルフ・ネイル」先代の孫(~14841103死去)
1425年11月9日-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ケル・カウニョ」(~14260516)
1425年11月11日-09:00|日本|愛知県豊川市|応永32年10月|僧見性、三河国向称寺の地藏菩薩坐像を施入

1430迄 (1296件)

1425年12月3日-01:00|イタリア| |||<ゲネツィアとフィレンツェが、ミラノに対抗して同盟を結ぶ
1425年12月8日-09:00|日本| |||<応永32年10月28日|大内盛見、少弐満貞を撃破
1426年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ラースロー・チャキ」(~1435年)
1426年-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア対立総督・領主「ラトウ2世「ラスナク・ラウア」(2回目~1427年3月)
1426年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペルズ公「シェウイト5世」(~1434年)、「カジミェシュ2世」(~1442年)共同統治
1426年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタンズ・ハン「Mehmet・ベイ」(~1435年)
1426年-01:00|イタリア| |||<再任>カラリア公(ボリ王の推定相続人の称号)「ルイーゼ3世」(~14341112死去)
1426年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ゲネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ニコロ・ヴェニ」(~1427年)
1426年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・ハン「ニコラス4世フランコパン」(~1432年)
1426年-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン＝ピンネブルク伯「オットー2世」(~1464年)
1426年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<エリク7世がハンザ同盟を攻撃
1426年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「コンチョバル・マック・マスカム・オー・ブリアン」
1426年 00:00|イギリス| |||<就任>第4代ケンブリッジ伯「リチャード・フランタネット」(~1460年)
1426年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「グラスゴー司教ジョン・キャメロン」(~1439年)
1426年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「カルビフォ」(~1434年)
1426年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「ダブ・アン・グレモア・オー・ブリアン」ブライアン・スリームハハ・オー・ブリアンとスレイン・ニコ・コン・マラの息子(~1438年没)
1426年1月9日-09:00|日本|静岡県浜松市|<応永32年12月|井伊直幸ら、遠江竜潭寺(引佐町井伊谷)鎮守三島社を造立
1426年1月21日-01:00|ポーランド| |||<死去>フョツク公「シェウイト4世」
1426年1月21日-01:00|ポーランド| |||<即位>フョツク公「トロイデン2世」シェウイト3世の息子(~14270725死去);統一フョツク公「ウワディスワフ1世」シェウイト4世の息子(~14540910死去)
1426年1月21日-01:00|ポーランド| |||<即位>ベウツ公「カジミェシュ2世」シェウイト4世の息子(~14420915死去、ベウツはフョツクに吸収)
1426年1月21日-01:00|ポーランド| |||<即位>ラファ公「シェウイト5世」シェウイト4世の息子(~14420217死去)
1426年1月21日-09:00|日本|愛知県|<応永32年12月13日|井伊五郎直幸於寿丸、渋川満福寺造立/作事奉行別当小納言幸井
1426年2月6日-09:00|日本|長野県|<応永32年12月29日|<任命>信濃国守護「小笠原政康」(~嘉吉2年8月9日(14420913)死去)
1426年2月8日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・宣徳1年|李氏朝鮮が対日開港場として3箇所を設置
1426年2月8日-09:00|日本|神奈川県|<応永33年|<交替>相模国守護「上杉定頼」⇒「一色持家」(~応永34(1427)年)
1426年2月8日-09:00|日本|京都府京都市右京区|<応永33年|明兆、鹿王院の釈迦三尊および三十祖像を描く
1426年2月8日-09:00|日本|新潟県|<応永33年|<交替>越後国守護「上杉頼方」解任⇒「上杉房朝」(~文安6年2月27日(14490321)死去)
1426年2月8日-08:00|中国| |||明・宣徳1年1月1日|明・宣徳と改元
1426年2月22日-09:00|日本|京都府京都市|<応永33年1月15日|姉小路-高辻、室町-富小路間焼亡
1426年2月26日-09:00|日本| |||<応永33年1月19日|興福寺僧徒が東大寺僧徒と戦い、東大寺の尊勝院に放火
1426年3月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ヨーク大司教ジョン・ケンフ」(1期目~14320226)
1426年3月18日-09:00|日本|京都府京都市|<応永33年2月9日|三条押小路-五条間焼亡
1426年3月23日-09:00|日本|神奈川県藤沢市|<応永33年2月14日|相模国清浄光寺が炎上
1426年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「フランチェスコ・ディ・バルチーノ」「フランチェスコ・ディ・シモーネ・ベルツィ」
1426年4月3日-09:00|日本|香川県三豊市|<応永33年2月25日|増峠、三野郡仁尾覚城院を再興し、供養導師をつとめる
1426年5月7日-08:00|中国/ベトナム| |||明・宣徳1年4月|明が王通らを派遣してベトナムの黎利(レロイ)を征討
1426年5月16日-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「モニント」(~1439年4月)
1426年6月16日-01:00|チェコ/ドイツ/スロバキア| |||急進フ派が、ドイツ十字軍を破る
1426年6月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「仇宗吉」(~14311008)
1426年7月5日-02:00|エジプト/キプロス| |||キプロスが、遠征してきたエジプト・マムルーク朝に敗れる
1426年7月5日-09:00|日本|京都府京都市|<応永33年6月|近江坂本の馬借、京都に乱入
1426年7月7日-02:00|キプロス| |||<就任>キプロス王国摂政「ニコシア大司教ユーグ・ド・ルシヤン」(14261130より、枢機卿~14270512)
1426年7月11日-01:00|イタリア| |||<ベネツィア、ミラノ公に対抗して、サヴォイア公及びフィレンツェと同盟
1426年7月12日-02:00|エジプト/キプロス| |||キプロスのジャンヌス王がエジプト王に捕虜にされ、首都ニコシアが破壊される
1426年7月31日-09:00|日本|奈良県奈良市|<応永33年6月27日|<再興>興福寺五重塔
1426年8月3日-08:00|中国| |||明・宣徳1年7月|明で漢王朱高氏の反乱がおこる
1426年9月2日-09:00|日本|山梨県|<応永33年8月1日|武蔵七党、足利持氏の武田信長退治にあわせ秩父口より甲斐に乱入
1426年9月4日-09:00|日本|京都府京都市|<応永33年8月3日|鴨川洪水、五条橋流失
1426年9月18日-01:00|オランダ| |||<死去>フヘルト・ファン・アイク(フランドル画家)[1366年生~](享年60)
1426年9月24日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|<応永33年8月23日|鎌倉建長寺が焼失
1426年9月26日-09:00|日本|山梨県|<応永33年8月25日|武田信長、足利持氏に降る
1426年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「聖ルカデ・イーニ」「フランチェスコ・ディ・ベット」

1430迄 (1296件)

1426年10月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ルシタイン=レンズブルク伯「アドルフ10世」
1426年10月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ルシタイン=ヒンネブルク伯「オットー2世」(~14640602死去)
1426年11月-07:00|ベトナム| |||<即位>大越皇帝「陳暲」(~14280126死去)
1426年11月2日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィアがブルシアを征服
1426年11月4日-09:00|日本|福井県敦賀市|応永33年10月5日|敦賀郡気比社社司と執当らが合戦し、北陸道が不通となる
1426年11月6日-09:00|日本|三重県名張市|応永33年10月7日|道性、三河国鹿島宮の社殿を建立
1426年11月7日-08:00|中国/ベトナム| ||大越・天慶1年|黎利軍が明軍を壊滅/5万以上の死傷者を出し、1万以上が生け捕り
1426年11月7日-09:00|日本| ||応永33年10月8日|<死去>常盤井宮満仁親王(73歳)皇族
1426年11月15日-09:00|日本| ||応永33年10月16日|<死去>摂津・丹波・讃岐・土佐国守護「細川満元」持元が継ぐ(~正長2年7月14日(14290814)死去)
1426年11月29日-07:00|ベトナム| ||大越・天慶1年11月|大越・陳コウが天慶と改元(~1428年旧1月10日)
1426年12月13日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|応永33年11月15日|遠州川名福満寺本尊薬師如来造立
1426年12月27日-09:00|日本|大分県|応永33年11月29日|<死去>筑後・豊後国守護「大友親著」持直が継ぐ(~永享4(1432)年)
1426年12月30日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、ウイコンティとの和平、サン・ジヨルジョ・マジョーレ島で締結
1426年12月31日 00:00|イギリス| |||<死去>エグゼター公・ドーセット伯「トマス・ボーフォート」
1427年-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<死去>ジョチ・ウルス・ハン「Baraq Khan」
1427年-04:00|ロシア| |||<死去>シビル・ハン「バジ・ムハンマト」
1427年-04:00|ロシア| |||<死去>リャザン大公「フォート・ル2世オレコウ・イチ」
1427年-04:00|ロシア| |||<即位>シビル・ハン「マフムト」(~1428年)
1427年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン大公「イヴァン3世フォート・ロウ・イチ」(~1456年死去)
1427年-03:00|イェメン| |||<即位>ラール朝スルタン「アシュラフ・イスマイル2世」(~1428年)
1427年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ファンティーノ・ウイアーロ」(~1429年)
1427年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューツツ執達吏・長官「ミケーレ・ミニオ」(~1429年)
1427年-01:00|セルビア| |||<即位>セルビア公「ジュラジ・ブルランコウ・イチ」ステファン・ラザレウイチの甥、ラザル・フレバリヤウイチの外孫(~1456年)
1427年-01:00|スペイン| |||<退位>グアラタ王国ナール朝アミール「ムハンマト9世」
1427年-01:00|スペイン| |||<復位>グアラタ王国ナール朝アミール「ムハンマト8世」(2期目~1429退位)
1427年-01:00|イタリア| |||サヴォイア公国、ウエルチェリ取得
1427年 00:00|イギリス| |||<死去>6代サザランド伯「ロバート・ド・モウ・イア(ロバート・サザランド)」
1427年 00:00|イギリス| |||<就任>7代サザランド伯「ジョン・ド・モウ・イア(ジョン・サザランド)」(~1460年死去)
1427年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「トルステイン・オラフソン」(2回目~1430年)、「ロトゥール・リキ・ガットルムソ」(北と西~1432年没)
1427年 00:00|イギリス| |||<就任>ストラサン伯「ウォルター・ステュアート」ロバート2世の息子、国王ジェームズ1世の叔父(~1437年)
1427年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||ポルトガル(またはセビリア)のデ・イゴデ・セニル大尉によってアゾレス諸島(ブライア、ピコファイル、サンミゲル、フロレスエコルホ、ケラシオーザ、サンタマリア、アングラサンホ)発見
1427年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第4代国王「イツコアトル」アカヒチトリの息子(~1440年)
1427年1月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|応永33年12月13日|松平泰親、三河国若一王子の社殿を建立
1427年1月28日-09:00|日本|京都府京都市東山区|応永34年|明兆、東福寺の四十祖像を描く
1427年1月28日-09:00|日本|鳥取県|応永34年|<任命>伯耆国守護「山名教之」(~享徳2(1453)年隠居)
1427年1月28日-09:00|日本|大阪府高槻市|応永34年1月|久遠成院日親摂津に一乗寺を創す
1427年3月-02:00|ルーマニア/トルコ| ||春|ワラキアはオスマン帝国の家臣(~14420902)
1427年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クリストファー・デ・イ・パウロ」「アントニオ・デ・イ・ベネデット」
1427年4月6日-09:00|日本|長野県長野市|応永34年3月10日|信濃の善光寺が焼ける
1427年4月17日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<死去>ブラバント公・リンブルフ公「ジャン4世」
1427年4月17日-01:00|オランダ/ベルギー| |||<即位>ブラバント公・リンブルフ公「フィリップ・ド・サンボル」(~14300804死去)
1427年4月17日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア王「プロコップ・ホーリー偉大王」この国の最高統治者(~14340530没)
1427年4月17日-01:00|イタリア| |||ベネツィア、マテスタ・デ・リミニとの和平
1427年4月27日-09:00|日本|愛知県岡崎市|応永34年4月|松平泰親、三河国若一王子に若一王子像を施入
1427年5月-01:00|イタリア| |||ポー河でウイコンティ軍にヴェネツィア海軍勝利
1427年5月 00:00|アイスランド/イギリス| |||<就任>アイスランド副王「ジョン・ド・グレイ・ド・ル・シニ卿」(~1428年7月)
1427年5月3日-09:00|日本|愛媛県東温市|応永34年4月7日|久米郡川上神社造営される
1427年5月12日-02:00|キプロス/エジプト| |||キプロスはエジプトのマムルク配下(~1516年)
1427年5月28日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「ハインリッヒ4世」兼ルシタイン=レンズブルク伯「ハインリッヒ4世」
1427年5月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブラウンシュヴァイク=グエルンハーゲン侯「エーリヒ」
1427年5月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク=グエルンハーゲン侯「ハインリッヒ3世」エーリヒの息子、弟のアルブレヒト2世と共同統治(~1464年死去)
1427年5月28日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ公「アドルフ1世」兼ルシタイン=レンズブルク伯「アドルフ8世」(~14591204死去)シュレースヴィヒ公、「ゲルハルト3世」(~14330724死去)
1427年6月17日-09:00|日本|京都府京都市|応永34年5月23日|連日の降雨で鴨川洪水、四条橋・五条橋・河原の在家

1430迄 (1296件)

流失

1427年6月25日-09:00|日本|福井県福井市|応永34年6月|日蓮宗日従、足羽郡一乗谷に正法寺を創建
1427年7月-01:00|セルビア/ハンガリー| ||ハンガリーがベオグラードを占領(~15210829)
1427年7月3日-09:00|日本|石川県|応永34年6月9日|<死去>加賀国守護「富樫満春」(不明)⇒長男「持春」が継いだ(~永享5年閏7月10日(14330824)死去)
1427年7月11日-01:00|デンマーク/ドイツ| ||デンマークのエリック7世が、コペンハーゲン沖でハンザ同盟軍を破る
1427年7月19日-01:00|セルビア| ||<即位>セルビア専制君主「ジュラジ・ブランコヴィッチ」(~14390818)ブランコヴィッチ王朝
1427年7月25日-01:00|ポーランド| ||<死去>プロウツク公「トロイエン2世」
1427年8月17日-01:00|フランス| ||パリに初めてジプシー(馬に乗った12人の苦行者)が現れる
1427年8月23日-09:00|日本|京都府京都市上京区|応永34年8月|久遠成院日親京一条戻橋に弘法寺を創す
1427年9月3日-01:00|ポーランド| ||<死去>オレシツァ公・ヒトム公「コンラト6世Dziekan」
1427年9月5日-09:00|日本|京都府京都市|応永34年8月14日|太政官が炎上
1427年9月21日-08:00|中国/ベトナム| ||明・宣徳2年9月|明の増援軍15万を黎利軍が破る。死者5万
1427年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・パシーノ」「アントニア・デ・イ・チェッコ」
1427年10月11日-01:00|イタリア| ||ヴェネツィアの傭兵隊長のカマニョーラがミラノの軍を破る
1427年10月11日-09:00|日本| ||応永34年9月21日|<死去>播磨・備前・美作国守護「赤松義則」
1427年10月11日-09:00|日本|岡山県|応永34年9月21日|<任命>備前・美作国守護「赤松持貞」(~11月13日(14271201)死去)
1427年10月11日-09:00|日本|兵庫県|応永34年9月21日|<任命>播磨国守護「赤松満祐」義則嫡男(~嘉吉元(1441)年9月10日死去)
1427年10月23日-01:00|フランス/イギリス| ||英国軍、ワール川対岸の関所レ・トゥールを奪取
1427年11月14日-09:00|日本|兵庫県|応永34年10月26日|足利義持が赤松満祐の所領を赤松持貞に付与。満祐は怒って自邸を焼いて播磨国に帰る
1427年11月19日-08:00|中国/ベトナム| ||明・宣徳2年11月|明軍王通が黎利軍に和睦を乞う
1427年12月-01:00|イタリア| ||ベネツィアにロンバルディア各地、降伏
1427年12月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「ミス司教エドワード・ダブシー」(~1428年7月)
1427年12月1日-09:00|日本|岡山県|応永34年11月13日|<死去>備前・美作国守護「赤松持貞」自害、満祐が継ぐ(~嘉吉元年9月10日(14410925)死去)
1427年12月10日-07:00|ベトナム/中国| ||明・宣徳2年11月22日|明軍がベトナムから撤退
1428年-08:00|インドネシア| ||<即位>サム・ラ・サイ王国第7代スルタン「ザイナル・アビディン2世」(~1438年)
1428年-07:00|ラオス/タイ| ||<死去>ランサン王朝国王「ラン・カムデーン王」
1428年-07:00|ラオス/タイ| ||<即位>ランサン王朝国王「ホ・マット王」マハー・テーヴィ(サム・セン・タイ王の妹)の傀儡(~同年死去)
1428年-05:45|ネパール| ||<即位>マ王国「Jayayakshya Malla」(~1482年)
1428年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>シャイバニー朝ハン「アブル・ハイル・ハン」ジョチの子シバンから7世の子孫ダウラト・シャフの子(~1468年死去)
1428年-05:00|ガフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| ||<復位>ジョチ・ウルス・ハン「Ulugh Muhammad」(2期目~1437年)
1428年-04:00|ロシア| ||<即位>金帳ハン国ハン「オラフ・モハンマト」(~1433年)
1428年-04:00|ロシア| ||<即位>シバル・ハン国ハン「Abu l-Khayr Khan」(~1468年)
1428年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ドミトリ・アレクサンドロヴィチ」(~1428年)
1428年-04:00|ロシア/ウズベキスタン| ||シバルはウズベキスタンのハン国の一部(~1469年)
1428年-03:00|イェメン| ||<即位>ラール朝スルタン「ザヒール・ヤーヤ」(~1439年)
1428年-02:00|ギリシャ| ||<即位>モリス専制公「コンスタンティノス・パレオログス」共同統治(~1448年)
1428年-02:00|ウクライナ| ||ギリシャが支配権を握り、クリミア・ハン国(クリムの汗国)を設立
1428年-01:00|アントラ| ||<死去>アントラ公国共同大公「フォウ伯爵イザベル」
1428年-01:00|ドイツ| ||<死去>ハッハルク＝ザウセンベルク辺境伯「ルトルフ3世」
1428年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Paolo de Pellegrino」(~1429年)
1428年-01:00|ドイツ| ||<就任>ハッハルク＝ザウセンベルク辺境伯「ヴィルヘルム」(~1441年)
1428年-01:00|ドイツ| ||<就任>ブラウンシュヴァイク＝グオルフェンビュッテル侯「ヴィルヘルム1世」ハインリヒ1世の息子(~1432年弟のハインリヒ2世にグオルフェンビュッテル侯領を奪われる~1482年死去)、「ハインリヒ2世」ヴィルヘルム2世の弟(⇒1432年兄からグオルフェンビュッテル侯領を奪取~14731207死去)
1428年-01:00|フランス| ||<就任>モンパシエ伯「Louis1世 de Bourbon」(~1486.5死去)
1428年-01:00|ドイツ| ||<就任>リュネブルク侯「ヘルハルト1世」(~14340611死去)
1428年-01:00|ドイツ| ||<復位>ザクセン＝グイッテンベルク公「ヘルハルト1世」(1434年死去)
1428年-01:00|ハンガリー/トルコ| ||オスマン朝とハンガリーが和平を締結
1428年-01:00|イタリア| ||ベネツィアでペストにより2万人死亡
1428年 00:00|マン島| ||<就任>マン島副知事「Henry Byron」
1428年 07:00|メキシコ| ||アステカ人、メキシコ盆地を平定
1428年1月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン選帝侯「フリードリヒ1世好戦公」兼マイン辺境伯「フリードリヒ4世」
1428年1月4日-01:00|ドイツ| ||<就任>ザクセン選帝侯「フリードリヒ2世紳士公」(~14640907死去)
1428年1月17日-09:00|日本| ||応永35年|<交替>九州探題・肥前国守護「渋川義俊」辞任⇒「渋川満直」(~永享6(1434)年1月死去)

1430迄 (1296件)

1428年1月17日-09:00|日本| ||応永35年|この年、飢饉・疫病により多数死亡
1428年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市|応永35年|臨濟宗方広寺派の十輪寺(浜松市丸塚町)創建
1428年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|応永35年|華蔵義曇、引馬城吉良義真の援護で、本能山随縁寺(寺島町)を寒巖義尹を開山として建立
1428年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|応永35年|月窓義運、曹洞宗広沢山普濟寺(広沢町)末の高松山西来院(広沢町)開創
1428年2月3日-09:00|日本|京都府京都市|応永35年1月18日|<死去>室町幕府第4代征夷大將軍「足利義持」、尻の傷を搔きまわって感染症にかかって/43歳(誕生:元中3(南);至徳3(北)(1386)0212)
1428年3月16日-07:00|ベトナム| ||明・宣徳3年3月|安南国王となった陳嵩が逃亡して死亡
1428年3月27日-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<死去>ポズナニ=シュテティン公「オットー2世」
1428年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・テニャ」「アントニオ・デ・イ・マリノ・デ・イ・フォスコ」
1428年4月26日-01:00|イタリア| ||フェラーラの和/ペルガモ、ブレシア、クレモナがヴェネツィアへ
1428年4月29日-07:00|ベトナム| ||大越・順天1年4月15日|<即位>後黎朝(大越)前期初代皇帝「太祖黎利」(~14330905死去)首都をクワンからトンキン(東京)に/順天と改元(~1433年)
1428年6月10日-09:00|日本| ||正長1年4月27日|「正長」に改元
1428年6月13日-09:00|日本|福岡県福岡市博多区|正長1年5月|久遠成院日親筑前博多に法性寺を創す
1428年7月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王「ダブリン卿ジョン・サットン」(~1430年5月)
1428年8月11日-09:00|日本|京都府|正長1年7月|以降<交替>山城国守護「京極持光」⇒「畠山満家」(~永享5年9月19日(14331031)死去)
1428年8月11日-09:00|日本|三重県|正長1年7月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「畠山満家」⇒「土岐持頼」(~永享12年5月16日(14400615)死去)
1428年8月30日-09:00|日本|京都府京都市|正長1年7月20日|<死去>101代「称光天皇」28歳(誕生:応永8(1401)0329)
1428年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|正長1年7月28日|<就任>摂政「二条持基」(~永享4年8月13日)
1428年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|正長1年7月28日|<踐祚>102代「後花園天皇」/永享1年12月27日即位(~14640719)
1428年9月10日-09:00|日本|滋賀県|正長1年8月|<正長の土一揆(近畿地方)>近江国で「山上山下一国平均御徳政」を要求した一揆が蜂起し守護六角氏が徳政令を出す
1428年10月-02:00|エジプト| ||マムルーク朝が砂糖などを政府専売とする
1428年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「聖ルカ・デ・イ・ニ」「アントニオ・ジャンニ」
1428年10月2日-09:00|日本|三重県|正長1年8月23日|<北畠満雅の挙兵(伊勢国)>後龜山法皇の孫・小倉宮聖承が北畠満雅を頼り、居所の嵯峨から逃亡。満雅はこの当時幕府と対立していた鎌倉公方・足利持氏と連合し、小倉宮を推戴して反乱/伊勢守護・土岐持頼(世保家)率いる幕府軍に攻められ、北畠勢は雲出川の戦いにおいて幕府軍を大破・敗走させる
1428年10月6日-01:00|モロコ/イタリア| ||モロコをミラノ公国が統治(~14360318)
1428年10月12日-01:00|フランス/イギリス| ||イギリス軍が、南フランスのイギリス領ギユエンヌとの連絡路を確保ためワール川中流のオルアン侯領のオルアンの町を攻略
1428年10月26日-04:00|日本|京都府京都市|正長1年9月18日|<正長の徳政一揆>明け方、京都の南郊にある山科、醍醐の農民たちが、山城の守護に徳政(債務免除)を要求して、債権者である酒屋や土倉(金融業者、現在の質屋に近い)、寺院などを次々と襲撃し、借金の証文を無理矢理出させて焼いた/中でも農民たちのこの一揆に、馬借(運送者、馬方)たちが参加し連合を組み大勢力となった
1428年11月3日 00:00|イギリス| ||<死去>ソールズベリー伯「トマス・モンタギュー」
1428年11月3日 00:00|イギリス| ||<就任>ソールズベリー女伯「アリス・モンタギュー」(~1462年死去)、ソールズベリー伯「リチャード・セシル」アリスの夫(~14601231死去)
1428年11月8日-09:00|日本|京都府京都市|正長1年10月1日|<死去>飛鳥井雅縁(71歳/権中納言、歌人)
1428年11月22日-01:00|ドイツ| ||<死去>ラウエンベルク伯「ゲルハルト2世」
1428年11月22日-01:00|ドイツ| ||<就任>ラウエンベルク伯「ゲルハルト2世」(~14750819死去)
1428年12月8日-04:00|日本|京都府京都市|正長1年11月2日|<正長の土一揆(近畿地方)>近江国から馬借が下京に攻め入り債務を破棄
1428年12月8日-04:00|日本|奈良県奈良市|正長1年11月2日|<正長の土一揆(近畿地方)>徳政一揆勢が奈良に侵入し、興福寺の学侶や六方衆は出陣、衆徒筒井氏は不退寺辺りで一揆勢と争い、これを退けている
1428年12月12日-04:00|日本|兵庫県|正長1年11月6日|<正長の土一揆(近畿地方)>播磨国では東寺領矢野荘で一揆が起こり播磨国中に波及
1428年12月28日-09:00|日本| ||正長1年11月22日|幕府が管領畠山満家(57)の名で、徳政を求める一揆の禁止令を出す
1429年-08:00|マレーシア| ||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・イスクンダール」(~1467年)
1429年-08:00|インドネシア| ||<即位>マジャパヒト王国国王「ラトゥ・シタ」(~1447年死去)
1429年-07:00|ラオス/タイ| ||<即位>ランサン王朝国王「ユ・コン」(マハ・テグイの傀儡~8か月で死去)
1429年-05:30|インド| ||<即位>パンデヤ朝君主「Cataiyavarman3世Kulasekara Pandyan」(~1473年)
1429年-04:00|ロシア| ||<復位>モスコフスキー・ナメストニク「アレクサンドル・フョードロヴィチ」(~1434年)
1429年-03:00|エチオピア| ||<死去>エチオピア帝国(ソモソモ朝) 皇帝「イシャク1世」
1429年-03:00|イラク/イラン/アゼルバイジャン| ||<即位>黒羊朝ベイ「アブ・サイード」(~1431年死去)

1430迄 (1296件)

1429年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「レオナルド・カラウエロ」(~1432年)
 1429年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「ハインリッヒ・フォン・ベッケンフェルデ・シュンゲル」(~1432年)
 1429年-02:00|エジプト/オスマン| |||ティムール朝のシャー・ルフがマムルーク朝に使節を派遣
 1429年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「モイーズ・スリアーノ」(1回目~1430年)
 1429年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Antonio d' Esguanez」(1期目~1431年)
 1429年-01:00|スペイン| |||<退位>グラナダ王国ナスル朝アミール「ムハンマド8世」
 1429年-01:00|アルジェリア| |||<復位>ザイヤン朝スルタン「アブー・アブドゥッラー2世」(~1430年)
 1429年-01:00|デンマーク| |||デンマークが海峡税を導入
 1429年 00:00|イギリス| |||<死去>4代マリ伯「ジェームズ・ダンバー」
 1429年 00:00|イギリス| |||<就任>5代マリ女伯「エリザベス・ダンバー」先代の娘(~1455年喪失)
 1429年1月25日-09:00|日本|三重県|正長1年12月21日|<死去>伊勢南半国守護「北畠満雅」伊勢阿濃郡岩田川で長野満藤・仁木持長・一色義貫らと戦い、討ち死に/子の教具が継ぐ(~文明3年3月23日(14710413)死去)
 1429年2月4日-09:00|日本|沖縄県|明・宣徳4年|<死去>琉球南山国王「他魯每」尚巴志に攻め滅ぼされた
 1429年2月4日-09:00|日本|沖縄県|朝鮮・宣徳4年|琉球中山国王「尚巴志」が南山を滅ぼし琉球統一⇒琉球国王(~14390601(正統4年4月20日)死去)
 1429年2月4日-09:00|日本|京都府京都市右京区|正長2年|足利義教、妙心寺を再興
 1429年2月4日-09:00|日本|静岡県藤枝市|正長2年|鎌倉光明寺3世定慧良譽の弟子宝譽弥阿、瀬古獅子鼻山上西光寺平にあった真言宗西光寺を浄土宗に改め寺を移し西光寺(藤枝)開山
 1429年2月4日-09:00|日本|島根県|正長2年|<交替>石見国守護「山名氏利」⇒「山名教清」(~永享9(1437)年)
 1429年2月4日-09:00|日本|奈良県北葛城郡王寺町|正長2年|足利義教、大和国達磨寺を再興
 1429年2月4日-09:00|日本|広島県|正長2年|<任命>安芸国守護「山名時熙」(~永享5(1433)年8月隠居)
 1429年2月4日-08:00|中国| ||明・宣徳4年|<死去>モグリスタン・ハン国ハン「ワイス」
 1429年2月4日-08:00|中国| ||明・宣徳4年|<即位>モグリスタン・ハン国ハン「サク」(~1434年死去)、「エセン・ブ」(~1462年死去)
 1429年2月10日-01:00|フランス/イギリス| |||<ル・ガレーの戦い(鯨の日)>ル・ガレーで仲間内の足の引っ張り合いが原因で仏軍が大敗/スコットランドのジョン・ステュアート、ウェルデューンの貴族ジャン・ド・レスコーなど優秀な将兵を多数失う
 1429年2月13日-09:00|日本|奈良県|正長2年1月10日|幕府、兵を遣して、大和澤、秋山二氏を撃つ
 1429年2月26日-09:00|日本|奈良県|正長2年1月23日|幕府、興福寺、及び多武峰衆徒をして、大和澤、秋山二氏を撃たしむ
 1429年3月4日-09:00|日本|兵庫県|正長2年1月29日|播磨の土一揆発生
 1429年3月9日-09:00|日本|奈良県|正長2年2月4日|伊賀守護仁木某、興福寺衆徒等、屢大和澤、秋山二氏と戦ふ、是日、仁木某之に死す
 1429年3月10日-01:00|ベルギー| |||<死去>ナミュール伯「ジャン3世」ナミュール伯領はブルゴーニュ公家のものとなった
 1429年3月10日-09:00|日本|京都府|正長2年2月5日|土一揆、丹波国で蜂起
 1429年3月16日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|正長2年2月11日|鎌倉の永安寺および大楽寺が焼失
 1429年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・イ・シモーネ・ベルツィ」
 1429年4月18日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウー国王「ナラメクラ」建国(~1430509)
 1429年4月18日-09:00|日本| ||正長2年3月15日|<就任>室町幕府第6代将軍「足利義教(義宣から改名)」(~嘉吉1年6月24日)
 1429年5月4日-01:00|フランス/イギリス| |||ジャンヌ・ダルク、イングランド軍の「サン・ル砦」を陥落させる
 1429年5月6日-01:00|フランス/イギリス| |||ジャンヌ・ダルク、ワール川を渡り、南岸にあるイングランド軍の「サン・ジャン・ル・ブラン砦」を占領し(英軍は撤退していた)、「オーギュスタン砦」も陥落させる
 1429年5月7日-01:00|フランス/イギリス| |||ジャンヌ・ダルク、ワール川に架かるオルアン橋南岸「トゥール砦」(入市を監視するための楼閣)を陥落させる
 1429年5月8日-01:00|フランス/イギリス| |||ジャンヌ・ダルク、市外に打って出てイングランド軍を破りオルアンを解放/イングランド軍、撤退を始める
 1429年6月2日-09:00|日本|栃木県|正長2年5月|足利持氏が下野国那須郡の京都扶持衆・那須氏一族の内紛に付け込み、嫡流の那須資之(禅秀の婿)を攻めさせる
 1429年6月18日-01:00|フランス/イギリス| |||<パテの戦い>王太子軍がオルアンの西北シャトルのバテの野でイギリス軍に決戦を挑み、大勝
 1429年7月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philip1世」
 1429年7月2日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philip2世」(~14920319)
 1429年7月4日-02:00|ギリシャ| |||<死去>ケファロニアとザンテの専制公・パラティヌ伯爵「カル1世トッコ」
 1429年7月4日-02:00|ギリシャ| |||<即位>ケファロニアとザンテの専制公・パラティヌ伯爵「カル2世トッコ」(~14480930没)
 1429年7月25日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「アマリヤ・ハズル・ダニシュメント・ウル・コカ・メフメト・ニザミデ・イン・パシャ」(~1438年)
 1429年7月26日-01:00|バチカン| |||<退任>アグニオン対立教皇「クレメン8世(ジル・サンチェス・ムス)」
 1429年8月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソロモン朝)皇帝「アントレアス・イェシャク」(~1430年3月死去)
 1429年8月7日-09:00|日本|奈良県|正長2年7月7日|<大和永享の乱(大和国)>大乗院衆徒豊田中坊と一乗院衆徒井戸某ら合戦し、大和国一円に争いが拡がる/大和永享の乱/箸尾・越智・沢・万歳・秋山氏が豊田中坊方、筒井・十市氏は井戸方

1430迄 (1296件)

1429年8月14日-09:00|日本| ||正長2年7月14日|<死去>摂津・丹波・讃岐・土佐国守護「細川持元」持之が継ぐ(〜嘉吉2年8月4日(14420908)死去)

1429年8月28日-01:00|フランス| ||フランス王シャル7世と側近、イングランド王と同盟している「ブルゴーニュ公」フィリップ(善良公)との「休戦協定」を結ぶ

1429年9月8日-01:00|フランス| ||フランス王シャル7世、ジャンヌ・ダルク率いる軍が、「ブルゴーニュ派」が支配するパリの「サン・トル門」(1区にあった)を攻めるが敗退

1429年9月18日-09:00|日本| ||正長2年8月20日|幕府奉行人出仕等の規式を定む

1429年9月22日-09:00|日本| ||正長2年8月24日|<任命>室町幕府管領「斯波義淳」(〜永享4(1432)年10月10日)

1429年9月29日-09:00|日本|愛知県北設楽郡東栄町|永享1年9月|夏目実清、三河国諏訪南宮の神像を制作

1429年10月-02:00|トルコ| ||<即位>トビズン 帝国第20代皇帝「ヨハネス4世」(〜1459年)

1429年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・イ・リゴ」「アントレ・デ・イ・チェッコ」

1429年10月3日-09:00|日本| ||永享1年9月5日|「永享」に改元

1429年10月22日-09:00|日本|京都府京都市|永享1年9月24日|幕府楠木光正を京都六条河原で斬る

1429年11月21日-09:00|日本|福岡県|永享1年10月25日|<任命>筑前国守護「大内盛見」(〜永享3年6月28日(14310806)死去)

1429年11月27日-09:00|日本|京都府京都市|永享1年11月|足利義教、室町殿新造会所に移る

1429年12月8日-01:00|ポーランド| ||<死去>ワルシャワ公「ヤヌシュ1世」

1429年12月8日-01:00|ポーランド| ||<即位>ワルシャワ公「ボレスワフ4世」(1436年まで母の摂政下〜14540910死去)

1430年-07:00|オーストリア| ||<即位>ランサーン王朝国王「コン・カム」(マハー・テーヴァの傀儡〜1432年死去)

1430年-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「ハジ・1世ギレイ」(〜1456年)

1430年-02:00|ギリシャ| ||<即位>モリス専制公「リマス・パ・レオガス」共同統治(〜1460年)

1430年-01:00|バチカン| ||<就任>アヴィニョン対立教皇「ベネディクトゥス14世(ジャン・ガリエ)」別の人物が同じ教皇名を引き継ぐ(〜1437年)

1430年-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「ピエトロ・コンターリニ」(〜1432年)

1430年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領主の暫定提督「Duarte de Meneses」(1期目〜1434年)

1430年-01:00|ドイツ| ||<就任>マルク伯「ゲルハルト」(〜1461年死去)

1430年-01:00|アルジェリア| ||<即位>ザイヤン朝スルタン「アブー・アッハース・アフマト」(〜1461年)

1430年-01:00|スペイン| ||<復位>グアラタ王国ナシル朝アミール「ムハンマド9世」(2期目〜1431年退位)

1430年-01:00|イタリア/トルコ| ||ベネツィア、トルコ皇帝ムラト二世との条約

1430年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>カリヤ諸島領主「Guillen de las Casas」(〜1440年)

1430年 07:00|メキシコ| ||<即位>タラス王「タンク・シュアン1世」(〜1454年)

1430年1月7日-01:00|フランス/ポルトガル| ||ブルゴーニュ善良公、ポルトガル王女イザベルと結婚

1430年1月10日-01:00|ベルギー/フランス| ||「ブルゴーニュ公」フィリップ 善良公(フィリップ3世)、ブリュージュに「金羊毛騎士団」(金の鎖を首にかけ、金で作った羊の毛をペンダントとして下げていた)を結成

1430年1月25日-09:00|日本|岡山県|永享2年|<交替>備中国守護「細川頼重」⇒「細川氏久」(〜寛正元(1460)年)

1430年1月25日-09:00|日本|広島県|永享2年|<任命>安芸国[佐東郡、山県郡、安南郡]守護「武田信繁」

1430年1月25日-09:00|日本|山口県山口市|永享2年|この年、山口洞春寺観音堂できる

1430年1月25日-09:00|日本|三重県|永享2年1月|幕府と北畠氏が和睦/北畠氏、小倉宮を幕府に引き渡し

1430年2月13日-01:00|ドイツ| ||<死去>トリア選帝侯「オットー」

1430年2月13日-01:00|ドイツ| ||<就任>トリア選帝侯「ラバン」(〜14391104死去)

1430年2月22日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永享2年1月29日|鎌倉浄妙寺が焼失

1430年2月23日-09:00|日本|奈良県|永享2年2月|<大和永享の乱(大和国)>幕府が興福寺に命じ勧告を無視した豊田中坊氏を討たせる

1430年3月-03:00|エチオピア| ||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「アントレ・アス・イェシヤク」

1430年3月-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「テケレ・マリアム」(〜1433年6月死去)

1430年3月29日-02:00|ギリシャ/トルコ| ||テッサロニキがオスマン帝国に再征服される

1430年3月29日-01:00|イタリア/トルコ| ||オスマン艦隊がヴェネツィア艦隊を破る/オスマン朝はテッサロニキを獲得

1430年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・シモーネ・ベルツィ」「ジョヴァンニ・デ・イ・アントニオ」

1430年5月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副王代行「ダブリン大司教リチャード・タルボット」(2回目〜14310412)

1430年5月5日-01:00|イタリア| ||ベネツィア、フィレンツェ及びジェナと同盟

1430年5月6日-01:00|フランス| ||ゲルネ・シュル・アロント 要塞がブルゴーニュ善良公の包囲に戦わずして降伏/シャル7世と休戦協定中だったのだがその裏で密かに作戦を企てていた

1430年5月13日-09:00|日本| ||永享2年4月21日|<死去>堯仁法親王(68歳/後光厳天皇の皇子、第142・149世天台座主)

1430年5月23日-01:00|フランス/イギリス| ||ジャンヌ・ダルク、パリ北東のコンピエーニュの町を救うため、コンピエーニュに入城し、この日城外に出て戦い、ブルゴーニュ派ジャン・ド・リュクサンブールに捕えられ金貨1万枚で英国軍に引き渡される

1430年6月1日-09:00|日本|栃木県|永享2年5月11日|<死去>下野国守護「結城基光」

1430年6月21日-09:00|日本|石川県|永享2年6月|<任命>加賀国守護「富樫持春」(〜永享5(1433)年閏7月10日死去)

1430年6月23日-01:00|フランス| ||<死去>バル公「ルイ1世」

1430年6月23日-01:00|フランス| ||<就任>バル公「ルネ・ダン・ジュ」ナポリ王、ロレーヌ公(〜14800710死去)

1430年7月7日-09:00|日本|千葉県|永享2年6月17日|<死去>下総国守護「千葉兼胤」長男の胤直が継ぐ(〜嘉吉元(1441)年隠居)

1430迄 (1296件)

1430年8月4日-01:00|オランダ/ヘルク-フランス| |||<死去>ブラバント公・リンブルフ公「フィリップ・ド・サン＝ボル」兼サン＝ボル伯・リニ-伯「フィリップ 1世」
1430年8月4日-01:00|フランス| |||<就任>サン＝ボル伯・リニ-伯「ジャンヌ」(~9. 18死去)
1430年8月4日-01:00|ヘルク-オランダ/デンマーク| |||<即位>ブラバント公「フィリップ 2世」兼リンブルフ公「フィリップ 3世(善良公)」
ブルゴ-ニュ公・ナミュール伯(~14670615死去)
1430年9月8日-09:00|日本| ||永享2年8月21日|幕府訴訟及び酒屋・土倉等の制規を定む
1430年9月18日-01:00|フランス| |||<死去>サン＝ボル伯・リニ-伯「ジャンヌ」
1430年9月18日-01:00|フランス| |||<就任>サン＝ボル伯「ピエール1世」(~14330831死去)
1430年9月18日-01:00|フランス| |||<就任>リニ-伯「John2世」(~14410105死去) Joanの甥
1430年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「聖ルカデ・イニ」「ベネチーノ・デ・イ・パオリノ」
1430年10月15日-09:00|日本|徳島県|永享2年9月28日|<死去>阿波国守護「細川満久」持常が継ぐ(~宝徳元年12月16日(14500128)死去)
1430年10月16日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)「アレクサンダー・スチュワート」(~同日死去)
1430年10月27日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<死去>リトアニア大公「アレクサンドラス」領土はポーランド王国の支配下に置かれる
1430年10月27日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ウラジスワフ」(3回目~11. 7)
1430年11月7日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ボレスワフ」(⇒14320901、従兄ジギモンタス・ケストゥタイリスの信奉者によって退位させられ対立大公~14350901)
1430年11月21日-09:00|日本| ||永享2年11月6日|幕府負債償却法を定む
1430年11月26日-09:00|日本| ||永享2年11月11日|世阿弥の「申楽談儀」が完成